

令和5年度 痴漢被害実態把握調査

アンケート調査報告書



東京都

I アンケート調査実施要領

調査実施要領

目的

- 痴漢は車両内や駅構内など公共空間での発生が多く、加害者との面識がない割合が高いことから被害の申告をためらう暗数化しやすい犯罪である。
- そこで、若年層を中心に都内の痴漢被害の実態及びその傾向を調査し、その調査結果を踏まえて痴漢被害をなくすための具体的な対策につなげる。

痴漢の定義

- 迷惑防止条例で禁止される下記等の行為。

禁止される行為	内容
痴漢行為 (5条1項1号)	衣服その他の身に着ける物の上から又は直接に人の身体に触れること。 ・ 体を触られた ・ ボタン等を外された ・ 体を密着された ・ 髪を触られた
卑わいな言動 (5条1項3号) の一部	社会通念上、性的道義観念に反する下品でみだらな言語又は動作。 ・ 匂いがかがれた ・ カバン等を押し付けられた ・ 息を吹きかけられた ・ AirPods等で画像を送られた・見せられた

※盗撮行為（5条1項2号）は対象外。

調査実施要領

実施要領

調査依頼 対象	一都三県在住の16～69歳の方	
調査種類	被害者調査	第三者調査
要件	<ul style="list-style-type: none">東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方電車内、駅構内で痴漢にあったことがある方16～39歳	<ul style="list-style-type: none">東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方電車内、駅構内で痴漢を目撃または痴漢の現場に居合わせたことがある方16～69歳
回答数	概ね2,000件	概ね1,000件
スケジュール	2023年8月10日～30日	
備考	統計的正確性を重視した「1次配信」と、仕様等を満たす回答数確保を重視した「2次配信」に分割。	

調査実施要領

1次配信と2次配信

調査区分	1次配信	2次配信
重視事項	統計的な正確さ	仕様の達成、回収数のバランス
配信方法	概ね次ページの割付表の構成比となるように、性別・年齢別の調査協力率も踏まえて配信	1次調査の回収状況を見て、回収が少ない層の回収を増やすために、性別・年齢別に傾斜配信
実施時期	2023年8月10日～30日	2023年8月17日～30日
用途	痴漢経験率等、統計的確かさが重要な項目については、1次配信回答分の結果のみで推計	被害者調査、第三者調査等の対象者別項目については、全回答分（1次+2次配信以降）の結果で分析

調査項目一覧

<p>1) スクリーニング調査</p>	<p>○性別・性自認 ○年齢 ○職業・学校</p> <p>○住まい、通勤・通学先 ○交通機関利用状況</p> <p>（以下、通勤通学時の電車利用の）</p> <p>○乗車駅・降車駅 ○路線 ○乗車頻度</p> <p>○乗車時間 ○混雑度 ○車内でしていること</p> <p>○痴漢被害の有無（ここ1年／それ以前） ○被害にあった場所（ここ1年／それ以前／直近）</p> <p>○痴漢目撃等の有無（ここ1年／それ以前） ○被害を目撃等した場所（直近）</p> <p>○痴漢に遭わないためにしていること ○暮らし、これまでの経験、周りの人との関係</p>
<p>2) 本調査</p>	
<p>A 被害者調査 （電車内・駅構内）</p>	<p>○都内での痴漢被害回数（ここ1年／それ以前） ○最初の被害時の職業・学校</p> <p>○直近の被害の時期</p> <p>（以下、直近の痴漢被害にあった）</p> <p>○路線・駅 ○電車の種別* ○時期（月）</p> <p>○時間帯 ○移動目的 ○車両の位置*</p> <p>○場所** ○混雑度 ○その車両に乗車していた理由*</p> <p>○車両内の位置* ○被害時にしていたこと ○被害内容</p> <p>○痴漢行為のエスカレートの有無 ○被害に気づいたタイミング ○気づいた理由</p> <p>○被害が止まった理由 ○被害時の対応 ○対応により被害が止まったか</p> <p>○被害時の気持ち・状態 ○周囲の人は気づいたか ○気づいた周囲の人の反応</p> <p>○周囲の人が助けてくれた方法 ○助けにより被害が止まったか ○周囲の人にどのようにしてほしかったか</p> <p>○届け出・相談等の有無（直後、しばらく後） ○届け出・相談等をしなかった理由</p> <p>○連絡した機関名 ○当該機関の認知ルート ○本当はどのようにしたかったか</p> <p>○届け出・相談先はどのようなことをしてくれたか ○相談してどのような気持ちになったか</p> <p>○そのような気持ちになった理由 ○被害後の心身への影響</p>

※ *印は電車内被害者のみ、**印は駅構内被害者のみの設問

調査項目一覧（つづき）

<p>B 第三者調査 (電車内・駅構内)</p>	<p>○都内での痴漢目撃等回数（ここ1年／それ以前） ○直近の目撃等の時期 （以下、直近に痴漢被害を目撃等した）</p> <p>○路線・駅 ○電車の種別* ○時期（月） ○時間帯 ○車両の位置* ○場所** ○混雑度 ○車両内の位置 ○被害内容 ○痴漢行為のエスカレートの有無 ○被害に気づいたタイミング ○痴漢被害の確信の有無 ○目撃等時の行動 ○行動により被害が止まったか ○行動をした理由 ○行動しなかった理由 ○周囲の人の行動 ○周囲の人の行動により被害が止まったか ○届け出・連絡の有無 ○届け出・連絡時に被害者と一緒にいたか ○連絡した機関名 ○当該機関の認知ルート ○本当はどのようにしたかったか ○連絡しなかった理由 ○痴漢被害の帰結</p>
<p>C 共通設問</p>	<p>（防犯アプリ「DigiPolice」について）</p> <p>○認知の有無 ○認知ルート ○ダウンロードの有無 ○ダウンロードしていない理由 （痴漢撲滅キャンペーンについて） ○認知の有無 ○認知ルート ○効果的なキャンペーン方法 （相談機関について） ○認知の有無・認知ルート ○相談機関の印象 ○相談しやすい方法 （「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方について） ○認知の有無 ○認知ルート ○援助に対する考え方 ○痴漢を目撃したら援助行動を取るか ○援助行動に向けて後押しとなる事項 ○痴漢撲滅のために重要な事項 ○効果がありそうな取組 ○東京都の痴漢対策等への意見</p>

調査協力者数

■ 配信・回答者数

- 本アンケートの配信数・回答者数等の詳細は以下の通り。

①配信数	本アンケートを依頼した人数	276,127
②スクリーニング調査参加者数	スクリーニング調査に参加した人数	61,974
③スクリーニング調査回答者数	スクリーニング調査に全問回答した人数 (以下の除外要件に該当する方を除く) ➤ 年齢：15歳以下、70歳以上 ➤ 住まい：東京都以外 かつ 職業：専業主婦・主夫、 無職（東京都に通勤・通学しないと想定できる方） ➤ その他明らかに不誠実な回答	26,402 (うち1次配信分：8,284)
④本調査回答者数	被害者・電車内 被害者・駅構内 第三者・電車内 第三者・駅構内	2,010 209 1,042 312

Ⅱ 痴漢被害・目撃等経験

【分析対象】

- スクリーニング調査の配信総数のうち、居住都県別、性別、年代別に、できるだけ人口統計に準じた回答比率になるように配慮して配信した「1次配信」のデータ（n=8,284）を分析対象とした。
- 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方で、通勤・通学に電車を用いる方のうち、電車内、駅構内で痴漢にあったことがある方（＝被害者）、もしくは電車内、駅構内で痴漢を目撃または痴漢の現場に居合わせたことがある方（＝第三者（目撃・居合わせ者））の比率（被害率、目撃・居合わせ率）を算出した。
- その上で、被害者や第三者の特徴を分析した。

調査票配信状況

配信割付（1次配信）

- 1次配信では、居住都県別、性別、年代別に、できるだけ人口統計に準じた回答者構成となるように留意。
- 一都三県在住者のうち、16～69歳を対象に、SC回答者が概ね下記の構成になるように配慮。
- 居住都県別、性別、年代別に、人口統計に準じたに比率を設定（40～69歳は30%に設定）。性別・年代別の調査協力率を加味して、配信数を決定した。

居住地	性別	年代						計	
		16～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～69歳		
東京都	男性	1.8%	2.8%	3.4%	3.1%	3.3%	5.9%	20.3%	40.1%
	女性	1.7%	2.8%	3.3%	3.0%	3.1%	5.7%	19.7%	
埼玉県	男性	1.1%	1.4%	1.4%	1.4%	1.5%	3.0%	9.8%	19.1%
	女性	1.1%	1.3%	1.3%	1.3%	1.4%	2.8%	9.2%	
千葉県	男性	1.0%	1.1%	1.2%	1.2%	1.3%	2.5%	8.3%	16.1%
	女性	0.9%	1.1%	1.1%	1.1%	1.2%	2.4%	7.8%	
神奈川県	男性	1.4%	1.8%	1.9%	1.8%	2.0%	3.9%	12.8%	24.7%
	女性	1.3%	1.7%	1.7%	1.7%	1.8%	3.7%	12.0%	
計		10.4%	14.0%	15.3%	14.6%	15.7%	30.0%	100.0%	

回答状況

回答状況

- 1次配信の結果、回答者の居住都県別、性別、年代別の構成は下表のとおりとなった。
- 目標（前ページ）と比較して、①居住都県別には東京都の比率が高いがそれ以外の三県のバランスはとれている、②性別には女性がやや多いが、男性等からの回答も4割強得られている、③年代別にはほぼ目標通りのバランスが得られている、との結果となった（①、②については「東京都による痴漢被害実態把握調査」であることも影響していると言える）。
- この結果から、1次配信の回答者構成は、痴漢被害経験率等の統計算出に向けて、一定の信頼度を有するものと判断した。本節では以下、1次配信の回答結果を活用する。

居住地	性別	年代						計	
		16～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～69歳		
東京都	男性	1.2%	2.6%	5.2%	4.7%	4.9%	8.4%	27.0%	66.3%
	女性	5.4%	6.9%	5.5%	5.4%	5.8%	9.6%	38.7%	
	ノンバイナリー／Xジェンダー	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.5%	
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
埼玉県	男性	0.1%	0.5%	0.6%	0.8%	1.1%	1.8%	4.9%	11.1%
	女性	0.8%	1.6%	0.9%	0.7%	0.9%	1.2%	6.2%	
	ノンバイナリー／Xジェンダー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
千葉県	男性	0.1%	0.4%	0.7%	0.9%	0.8%	1.6%	4.3%	9.4%
	女性	0.6%	1.4%	0.8%	0.7%	0.6%	0.9%	5.0%	
	ノンバイナリー／Xジェンダー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
神奈川県	男性	0.3%	0.7%	0.7%	0.9%	1.0%	2.2%	5.7%	13.2%
	女性	1.0%	2.1%	1.0%	0.9%	1.0%	1.4%	7.4%	
	ノンバイナリー／Xジェンダー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	
	その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
計		9.6%	16.4%	15.5%	15.2%	16.1%	27.2%	100.0%	

※居住都道府県、性別、年齢のすべてに回答いただいた方から、一都三県以外の在住者を除いた8,277名の構成比。

痴漢被害経験①（場所を問わず）

痴漢被害経験（場所を問わず）

- 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方の被害率（「ある」、「確証はないがおそらくある」の合計）は、ここ1年で8.3%、それ以前で28.2%となっている。
- 上記結果から、生涯経験を算出すると、29.9%となった。

あなたは、次の期間に、痴漢被害にあったことがありますか。

（ここ1年）

ある	366	(4.4%)
確証はないがおそらくある	319	(3.9%)
ない	7599	(91.7%)
合計	8284	(100.0%)

（それ以前）

ある	1608	(19.4%)
確証はないがおそらくある	729	(8.8%)
ない	5947	(71.8%)
合計	8284	(100.0%)

痴漢被害率（場所を問わず）

	回答者数	被害率
生涯経験	2475	29.9%
ここ1年の被害経験	685	8.3%
1年以上前の被害経験	2337	28.2%
回答件数	8284	100.0%

※ここ1年、1年以上前の双方に被害にあった方がいるため、
生涯経験 = ここ1年の被害経験 + 1年以上前の被害経験
とはならない。

痴漢被害経験②（場所を問わず）

痴漢被害場所（場所を問わず）

- ここ1年：電車内84.1%、駅構内9.9%、バス内7.4%の順が多い。
- それ以前：電車内85.6%、路上15.1%、駅構内9.0%の順が多い。
- 直近の場所：電車内81.2%、路上7.9%、駅構内4.9%の順が多い。

それぞれの期間で、痴漢被害にあった場所をお答えください。（複数回答）

【被害経験者の回答】

（ここ1年）

電車内	576 (84.1%)
駅構内	68 (9.9%)
バス内	51 (7.4%)
路上	39 (5.7%)
商業施設・店舗	15 (2.2%)
その他	7 (1.0%)
回答件数	685

（それ以前）

電車内	2000 (85.6%)
駅構内	210 (9.0%)
バス内	91 (3.9%)
路上	353 (15.1%)
商業施設・店舗	144 (6.2%)
その他	38 (1.6%)
回答件数	2337

（直近の場所）

電車内	2010 (81.2%)
駅構内	121 (4.9%)
バス内	53 (2.1%)
路上	196 (7.9%)
商業施設・店舗	67 (2.7%)
その他	28 (1.1%)
合計	2475 (100.0%)

痴漢目撃等経験①（場所を問わず）

痴漢目撃・居合わせ状況（場所を問わず）

- ここ1年：痴漢被害を目撃したは3.6%、痴漢行為に気がついたは1.1%、痴漢の現場に居合わせたは1.8%となっている（複数回答）。
- それ以前：同様に、目撃したは6.6%、気がついたは2.1%、居合わせたは4.2%となっている。

あなたは、それぞれの期間で、次のようなかたちで痴漢の被害を目撃したり、気が付いたり、痴漢の現場に居合わせたことはありますか。（複数回答）

（ここ1年）

他の誰かが痴漢被害にあったのを目撃した	297	(3.6%)
被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気がついた	94	(1.1%)
被害者や周囲が声を出すなどして痴漢の現場に居合わせた	147	(1.8%)
これらのことはない	7804	(94.2%)
回答件数	8284	

（それ以前）

他の誰かが痴漢被害にあったのを目撃した	548	(6.6%)
被害者に助けを求められるなどして痴漢行為に気がついた	172	(2.1%)
被害者や周囲が声を出すなどして痴漢の現場に居合わせた	344	(4.2%)
これらのことはない	7357	(88.8%)
回答件数	8284	

痴漢目撃等経験②（場所を問わず）

痴漢目撃・居合わせ場所（場所を問わず）

- 目撃した：電車内82.7%、駅構内10.5%、バス内2.5%の順が多い。
- 気がついた：電車内62.7%、駅構内18.4%、バス内13.4%の順が多い。
- 居合わせた：電車内77.1%、駅構内15.9%、バス内3.4%の順が多い。

それはどこで起きましたか。

【目撃・居合わせ経験者の回答】

【他の誰かが痴漢被害にあったのを 目撃した】

電車内	526 (82.7%)
駅構内	67 (10.5%)
バス内	16 (2.5%)
路上	15 (2.4%)
商業施設・店舗	10 (1.6%)
その他	2 (0.3%)
合計	636 (100.0%)

【被害者に助けを求められるなどして 痴漢行為に気がついた】

電車内	126 (62.7%)
駅構内	37 (18.4%)
バス内	27 (13.4%)
路上	9 (4.5%)
商業施設・店舗	2 (1.0%)
その他	0 (0.0%)
合計	201 (100.0%)

【被害者や周囲が声を出すなどして 痴漢の現場に居合わせた】

電車内	316 (77.1%)
駅構内	65 (15.9%)
バス内	14 (3.4%)
路上	9 (2.2%)
商業施設・店舗	6 (1.5%)
その他	0 (0.0%)
合計	410 (100.0%)

痴漢被害・目撃等経験①（電車内・駅構内）

痴漢被害および目撃・居合わせ経験（電車内・駅構内）

- 電車内・駅構内での痴漢被害経験（生涯経験）については、被害経験ありが27.1%となっている。
- また、同じく目撃・居合わせ経験（生涯経験）については、被害経験ありが11.2%となっている。

電車内・駅構内の被害者の痴漢被害および目撃・居合わせ経験（複数回答）

被害経験あり	2243	(27.1%)
目撃・居合わせ経験あり	931	(11.2%)
被害・目撃等経験なし	5687	(68.7%)
回答件数	8284	

痴漢被害・目撃等経験②（電車内・駅構内）

性・性自認別

- SC1次配信回答全体：女性57.3%、男性41.9%（ノンバイナリー/Xジェンダー0.7%）と、人口構成よりやや女性比が高め。
- 被害・目撃等経験別：
 - 被害経験ありは、女性41.1%、男性7.8%、ノンバイナリー/Xジェンダー33.9%。
 - 目撃・居合わせ経験ありは、女性11.7%、男性10.5%、ノンバイナリー/Xジェンダー16.1%。

あなたの性別または性自認をお答えください。

【SC1次配信回答全体】

男性	3474	(41.9%)
女性	4750	(57.3%)
ノンバイナリー/Xジェンダー	56	(0.7%)
その他	4	(0.0%)
合計	8284	(100.0%)

【被害・目撃等経験別】

	全体	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	8284	2243 (27.1%)	931 (11.2%)	5687 (68.7%)
男性	3474	272 (7.8%)	365 (10.5%)	2958 (85.1%)
女性	4750	1952 (41.1%)	557 (11.7%)	2690 (56.6%)
ノンバイナリー/Xジェンダー	56	19 (33.9%)	9 (16.1%)	35 (62.5%)
その他	4	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (100.0%)

痴漢被害・目撃等経験③（電車内・駅構内）

年代別

- SC1次配信回答全体：概ね人口分布（ターゲット割付）通りの回収となっている。
- 被害・目撃等経験別：
 - 被害経験ありは、多くの年代区分で3割前後。
 - 目撃・居合わせ経験ありは、多くの年代区分で1割前後。

あなたの年齢をお答えください。

【SC1次配信回答全体】

19歳以下	793	(9.6%)
20～24歳	1361	(16.4%)
25～29歳	1281	(15.5%)
30～34歳	1263	(15.2%)
35～39歳	1335	(16.1%)
40～44歳	313	(3.8%)
45～49歳	417	(5.0%)
50～54歳	487	(5.9%)
55～59歳	460	(5.6%)
60～64歳	356	(4.3%)
65歳以上	218	(2.6%)
合計	8284	(100.0%)

【被害・目撃等経験別】

	全体	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	8284	2243 (27.1%)	931 (11.2%)	5687 (68.7%)
19歳以下	793	214 (27.0%)	66 (8.3%)	557 (70.2%)
20～24歳	1361	402 (29.5%)	152 (11.2%)	916 (67.3%)
25～29歳	1281	331 (25.8%)	167 (13.0%)	902 (70.4%)
30～34歳	1263	307 (24.3%)	140 (11.1%)	899 (71.2%)
35～39歳	1335	364 (27.3%)	140 (10.5%)	910 (68.2%)
40～44歳	313	105 (33.5%)	42 (13.4%)	195 (62.3%)
45～49歳	417	140 (33.6%)	54 (12.9%)	260 (62.4%)
50～54歳	487	143 (29.4%)	47 (9.7%)	323 (66.3%)
55～59歳	460	115 (25.0%)	59 (12.8%)	316 (68.7%)
60～64歳	356	76 (21.3%)	35 (9.8%)	258 (72.5%)
65歳以上	218	46 (21.1%)	29 (13.3%)	151 (69.3%)

痴漢被害・目撃等経験④（電車内・駅構内）

職業・学校

- SC1次配信回答全体：会社員・公務員（56.3%）、大学生・大学院生（11.6%）、パート・アルバイト（10.9%）の順が多い。
- 被害・目撃等経験別：
 - 被害経験ありは、多くの区分で3割前後。専業主婦・主夫で42.1%と最多。
 - 目撃・居合わせ経験ありは、多くの区分で1割前後。自営業・自由業（13.1%）、会社員・公務員（12.6%）が多め。

【被害・目撃等経験別】

あなたの現在の職業・学校をお答えください。

【SC1次配信回答全体】

高校生	396 (4.8%)
専門学校生・短大生	148 (1.8%)
大学生・大学院生	961 (11.6%)
会社員・公務員	4660 (56.3%)
パート・アルバイト	903 (10.9%)
自営業・自由業	374 (4.5%)
専業主婦・主夫	418 (5.0%)
無職	363 (4.4%)
その他	61 (0.7%)
合計	8284 (100.0%)

	全体	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	8284	2243 (27.1%)	931 (11.2%)	5687 (68.7%)
高校生	396	114 (28.8%)	36 (9.1%)	272 (68.7%)
専門学校生・短大生	148	37 (25.0%)	13 (8.8%)	107 (72.3%)
大学生・大学院生	961	282 (29.3%)	105 (10.9%)	643 (66.9%)
会社員・公務員	4660	1159 (24.9%)	589 (12.6%)	3258 (69.9%)
パート・アルバイト	903	291 (32.2%)	76 (8.4%)	590 (65.3%)
自営業・自由業	374	95 (25.4%)	49 (13.1%)	261 (69.8%)
専業主婦・主夫	418	176 (42.1%)	38 (9.1%)	235 (56.2%)
無職	363	67 (18.5%)	19 (5.2%)	286 (78.8%)
その他	61	22 (36.1%)	6 (9.8%)	35 (57.4%)

痴漢被害・目撃等経験⑤（電車内・駅構内）

住まい、通勤・通学先

- SC1次配信回答全体：住まいは東京都66.2%、神奈川県13.2%、埼玉県11.1%、千葉県9.4%と、東京都が多くなっている。三県のバランスはとれている。通勤・通学先は東京都が95.1%。
- 被害・目撃等経験別：被害経験、目撃・居合わせ経験ともに、住まいの都県による大きな差異は見られない。

あなたのお住まい、通勤・通学先は以下のどれにあたりますか。

【SC1次配信回答全体】

（住まい）

埼玉県	920 (11.1%)
東京都	5488 (66.2%)
千葉県	778 (9.4%)
神奈川県	1091 (13.2%)
これら以外の道府県	7 (0.1%)
決まった通勤・通学先はない	0 (0.0%)
合計	8284 (100.0%)

（通勤・通学先）

埼玉県	82 (1.1%)
東京都	7137 (95.1%)
千葉県	56 (0.7%)
神奈川県	130 (1.7%)
これら以外の道府県	10 (0.1%)
決まった通勤・通学先はない	88 (1.2%)
合計	7503 (100.0%)

【被害・目撃等経験別】

（住まい）

	全体	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	8284	2243 (27.1%)	931 (11.2%)	5687 (68.7%)
埼玉県	920	263 (28.6%)	119 (12.9%)	607 (66.0%)
東京都	5488	1459 (26.6%)	580 (10.6%)	3812 (69.5%)
千葉県	778	200 (25.7%)	91 (11.7%)	542 (69.7%)
神奈川県	1091	321 (29.4%)	140 (12.8%)	720 (66.0%)
これら以外の道府県	7	0 (0.0%)	1 (14.3%)	6 (85.7%)
決まった通勤・通学先はない	0	0	0	0

※通勤・通学先は95%が東京都であるため、掲載せず。

痴漢被害・目撃等経験⑥（電車内・駅構内）

電車に乗る頻度

- SC1次配信回答全体：週5回程度（38.7%）、週3～4回程度（17.5%）、ほとんど毎日（15.9%）の順が多い。
- 被害・目撃等経験別：※痴漢・目撃等の生涯経験と、現在の電車利用頻度との相関をみている点に留意。
 - 被害経験ありは、多くの区分で3割弱。
 - 目撃・居合わせ経験ありは、電車利用頻度が高いほど、微増する傾向がみられる。

あなたは普段、どれくらいの頻度で電車に乗っていますか。

【SC1次配信回答全体】

月に1回未満	330	(4.6%)
月に1～2回程度	595	(8.4%)
週に1～2回程度	1054	(14.8%)
週に3～4回程度	1247	(17.5%)
週に5回程度（平日は毎日など）	2753	(38.7%)
ほとんど毎日	1131	(15.9%)
合計	7110	(100.0%)

※通勤・通学に電車を利用している回答者

【被害・目撃等経験別】

	全体	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	7110	2035 (28.6%)	861 (12.1%)	4750 (66.8%)
月に1回未満	330	98 (29.7%)	28 (8.5%)	222 (67.3%)
月に1～2回程度	595	178 (29.9%)	63 (10.6%)	397 (66.7%)
週に1～2回程度	1054	306 (29.0%)	124 (11.8%)	690 (65.5%)
週に3～4回程度	1247	379 (30.4%)	150 (12.0%)	814 (65.3%)
週に5回程度（平日は毎日など）	2753	744 (27.0%)	342 (12.4%)	1883 (68.4%)
ほとんど毎日	1131	330 (29.2%)	154 (13.6%)	744 (65.8%)

痴漢被害・目撃等経験⑦（電車内・駅構内）

乗車時間

- SC1次配信回答全体：30分～1時間未満（39.9%）、1時間～1時間30分未満（22.1%）、15～30分未満（22.0%）の順が多い。
- 被害・目撃等経験別：※痴漢・目撃等の生涯経験と、現在の電車利用頻度との相関をみている点に留意。
 - 被害経験ありは、多くの区分で3割弱。
 - 目撃・居合わせ経験ありは、多くの区分で1割強。1時間～1時間30分未満（15.4%）、2時間以上（14.7%）で多め。

電車の1回の移動（片道、乗り換えも含む）は、どのくらいの時間がかかりますか。

【SC1次配信回答全体】

15分未満	669	(9.4%)
15～30分未満	1561	(22.0%)
30分～1時間未満	2839	(39.9%)
1時間～1時間30分未満	1569	(22.1%)
1時間30分～2時間未満	370	(5.2%)
2時間以上	102	(1.4%)
合計	7110	(100.0%)

※通勤・通学に電車を利用している回答者

【被害・目撃等経験別】

	全体	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	7110	2035 (28.6%)	861 (12.1%)	4750 (66.8%)
15分未満	669	195 (29.1%)	61 (9.1%)	455 (68.0%)
15～30分未満	1561	450 (28.8%)	192 (12.3%)	1027 (65.8%)
30分～1時間未満	2839	818 (28.8%)	330 (11.6%)	1895 (66.7%)
1時間～1時間30分未満	1569	451 (28.7%)	206 (13.1%)	1046 (66.7%)
1時間30分～2時間未満	370	96 (25.9%)	57 (15.4%)	256 (69.2%)
2時間以上	102	25 (24.5%)	15 (14.7%)	71 (69.6%)

痴漢被害・目撃等経験⑧（電車内・駅構内）

普段の電車の混雑度

- SC1次配信回答全体：100%（22.5%）、～100%（19.4%）、150%（19.3%）の順が多い。
- 被害・目撃等経験別：※痴漢・目撃等の生涯経験と、現在の電車利用時の混雑度との相関をみている点に留意。
 - 被害経験ありは、混雑度が高いほど、増加している。
 - 目撃・居合わせ経験ありは、混雑度が高いほど、増加する傾向がみられる（2時間以上では減少）。

あなたが普段乗っている電車の混雑度（最も混雑している区間）についてお答えください。

【SC1次配信回答全体】

～100%：ほとんど人がいない	477 (6.7%)
～100%：空席が見えるなど空いている	1380 (19.4%)
100%：定員乗車	1601 (22.5%)
150%：肩が触れる程度	1373 (19.3%)
180%：体が触れ合うが新聞は読める	1034 (14.5%)
200%：体が触れ合い相当な圧迫	969 (13.6%)
250%：身動きできない	276 (3.9%)
合計	7110 (100.0%)

※通勤・通学に電車を利用している回答者

【被害・目撃等経験別】

	全体	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	7110	2035 (28.6%)	861 (12.1%)	4750 (66.8%)
～100%：ほとんど人がいない	477	100 (21.0%)	29 (6.1%)	367 (76.9%)
～100%：空席が見えるなど空いている	1380	354 (25.7%)	128 (9.3%)	979 (70.9%)
100%：定員乗車	1601	415 (25.9%)	181 (11.3%)	1109 (69.3%)
150%：肩が触れる程度	1373	400 (29.1%)	188 (13.7%)	897 (65.3%)
180%：体が触れ合うが新聞は読める	1034	310 (30.0%)	137 (13.2%)	667 (64.5%)
200%：体が触れ合い相当な圧迫	969	349 (36.0%)	160 (16.5%)	570 (58.8%)
250%：身動きできない	276	107 (38.8%)	38 (13.8%)	161 (58.3%)

※混雑度の分類は、国等において作成しているものを参考に、本調査において作成したものである。

痴漢被害・目撃等経験⑨（電車内・駅構内）

普段、乗車時にしていること

- SC1次配信回答全体：スマートフォンの画面を見ている（73.2%）、音楽を聴いている（37.0%）、寝ている・目をつむっている（35.8%）の順が多い。
- 被害・目撃等経験別：※痴漢・目撃等の生涯経験と、現在の電車利用時の混雑度との相関をみている点に留意。
 - 被害経験ありに多い行動は、話をしている（38.9%）、広報媒体（電車内のモニター画面）を見ている（38.5%）、中吊り広告などをみている（37.0%）、周りを見回している（36.9%）の順。
 - 目撃・居合わせ経験ありに多い行動は、周りを見回している（18.8%）、中吊り広告などを見ている（16.8%）、本を読んでいる（16.3%）の順。

あなたは普段、電車に乗車しているときに、どのようなことをしていますか。（複数回答）
【SC1次配信回答全体】

スマートフォンの画面を見ている	5204 (73.2%)
スマートフォンでゲームなどを行っている	1448 (20.4%)
本を読んでいる	1002 (14.1%)
音楽を聴いている	2628 (37.0%)
中吊り広告などを見ている	1398 (19.7%)
広報媒体（電車内のモニター画面）を見ている	1222 (17.2%)
寝ている・目をつむっている	2546 (35.8%)
外を見ている	1963 (27.6%)
周りを見回している	818 (11.5%)
話をしている	298 (4.2%)
その他	63 (0.9%)
何もしていない	421 (5.9%)
回答件数	7110 (2.67)

※通勤・通学に電車を利用している回答者

痴漢被害・目撃等経験⑨（電車内・駅構内）

【被害・目撃等経験別】

	全体	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	7110	2035 (28.6%)	861 (12.1%)	4750 (66.8%)
スマートフォンの画面を見ている	5204	1550 (29.8%)	633 (12.2%)	3404 (65.4%)
スマートフォンでゲームなどをして いる	1448	479 (33.1%)	228 (15.7%)	893 (61.7%)
本を読んでいる	1002	328 (32.7%)	163 (16.3%)	605 (60.4%)
音楽を聴いている	2628	865 (32.9%)	356 (13.5%)	1638 (62.3%)
中吊り広告などを見ている	1398	517 (37.0%)	235 (16.8%)	790 (56.5%)
広報媒体（電車内のモニター 画面）を見ている	1222	471 (38.5%)	185 (15.1%)	683 (55.9%)
寝ている・目をつむっている	2546	838 (32.9%)	333 (13.1%)	1573 (61.8%)
外を見ている	1963	696 (35.5%)	271 (13.8%)	1165 (59.3%)
周りを見回している	818	302 (36.9%)	154 (18.8%)	457 (55.9%)
話をしている	298	116 (38.9%)	46 (15.4%)	167 (56.0%)
その他	63	12 (19.0%)	3 (4.8%)	50 (79.4%)
何もしていない	421	72 (17.1%)	26 (6.2%)	343 (81.5%)

関連行動①（電車内・駅構内）

痴漢被害予防行動

- SC1次配信回答全体：特にしていることはない（51.0%）、車内で立つ場所に気をつける（18.4%）、ラッシュ時間帯を避ける／乗る時間を変える（17.1%）の順が多い。
- 被害・目撃等経験別：※痴漢・目撃等の生涯経験と、現在の痴漢被害予防行動との相関をみている点に留意。
 - 被害経験ありは、全般的に予防行動を取っているとの回答比率が高い。中でも防犯アプリを使っている（57.9%）、女性専用車両に乗る（56.6%）、防犯ブザーを携帯している（54.8%）、乗る車両を変える（54.6%）等が多くなっている。
 - 目撃・居合わせ経験ありは、防犯アプリを使っている（49.2%）、防犯ブザーを携帯している（37.8%）の順が多い。

現在、あなたは、電車内で痴漢の被害にあわないために、次のようなことをしていますか。（複数回答）

【SC1次配信回答全体】

ラッシュ時間帯を避ける／乗る時間を変える	1219 (17.1%)
混雑する路線を避ける	714 (10.0%)
混雑する車両（急行など）を避ける	888 (12.5%)
夜遅い時間の電車利用を避ける	419 (5.9%)
乗る車両を毎回変える	306 (4.3%)
ひとりで乗らない（友人や知人などと乗る）	216 (3.0%)
女性専用車両に乗る	986 (13.9%)
車内で立つ場所に気をつける	1311 (18.4%)
防犯アプリを使っている	126 (1.8%)
防犯ブザーを携帯している	135 (1.9%)
周りの人に不審な動きがないか気にしている	1051 (14.8%)
周りの人が痴漢の被害にあっていないか気にしている	318 (4.5%)
その他	58 (0.8%)
特にしていることはない	3627 (51.0%)
回答件数	7110

※通勤・通学に電車を利用している回答者

関連行動①（電車内・駅構内）

【被害・目撃等経験別】

	全体	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
全体	7110	2035 (28.6%)	861 (12.1%)	4750 (66.8%)
ラッシュ時間帯を避ける／乗る時間を変える	1219	495 (40.6%)	238 (19.5%)	656 (53.8%)
混雑する路線を避ける	714	288 (40.3%)	143 (20.0%)	385 (53.9%)
混雑する車両（急行など）を避ける	888	428 (48.2%)	205 (23.1%)	404 (45.5%)
夜遅い時間の電車利用を避ける	419	194 (46.3%)	101 (24.1%)	205 (48.9%)
乗る車両を毎回変える	306	167 (54.6%)	103 (33.7%)	119 (38.9%)
ひとりで乗らない（友人や知人などと乗る）	216	101 (46.8%)	65 (30.1%)	106 (49.1%)
女性専用車両に乗る	986	558 (56.6%)	195 (19.8%)	400 (40.6%)
車内で立つ場所に気をつける	1311	590 (45.0%)	257 (19.6%)	637 (48.6%)
防犯アプリを使っている	126	73 (57.9%)	62 (49.2%)	44 (34.9%)
防犯ブザーを携帯している	135	74 (54.8%)	51 (37.8%)	57 (42.2%)
周りの人に不審な動きがないか気にしている	1051	511 (48.6%)	221 (21.0%)	475 (45.2%)
周りの人が痴漢の被害にあっていないか気にしている	318	140 (44.0%)	97 (30.5%)	145 (45.6%)
その他	58	26 (44.8%)	10 (17.2%)	28 (48.3%)
特にしていることはない	3627	555 (15.3%)	209 (5.8%)	2937 (81.0%)

関連行動②（電車内・駅構内）

関連する行動等

- SC1次配信回答全体：はいとの回答が多いのは、心配事や困ったことを相談できる人がいる（66.5%）、最後に卒業したのは大学・大学院である（53.9%）、ふだんから話をしている人がたくさんいる（50.1%）の順。

次の質問に、「はい」か「いいえ」でお答えください。

【SC1次配信回答全体】

	全体	はい	いいえ
現在、一人暮らしをしている	8284 (100.0%)	2540 (30.7%)	5744 (69.3%)
帰宅時間が2 2 時を回ることが多い	8284 (100.0%)	1855 (22.4%)	6429 (77.6%)
転居・転勤・進学などによって通勤・通学経路が変わった	8284 (100.0%)	1861 (22.5%)	6423 (77.5%)
痴漢撲滅についてのニュースを見聞きした	8284 (100.0%)	2954 (35.7%)	5330 (64.3%)
痴漢撲滅について、駅構内ポスター・車内広告を見た	8284 (100.0%)	3687 (44.5%)	4597 (55.5%)
痴漢被害にあわないための講習会や教室に参加した	8284 (100.0%)	220 (2.7%)	8064 (97.3%)
最後に卒業したのは高校である	8284 (100.0%)	2005 (24.2%)	6279 (75.8%)
最後に卒業したのは大学・大学院である	8284 (100.0%)	4466 (53.9%)	3818 (46.1%)
ふだんから話をしている人がたくさんいる	8284 (100.0%)	4154 (50.1%)	4130 (49.9%)
心配ごとや困ったことを相談できる人がいる	8284 (100.0%)	5509 (66.5%)	2775 (33.5%)

関連行動③（電車内・駅構内）

- 被害・目撃等経験別：※痴漢・目撃等の生涯経験と、現在の痴漢被害予防行動との相関をみている点に留意。

- 被害経験ありでは、痴漢被害にあわないための講習会や教室に参加した（48.6%）、痴漢撲滅についてのニュースを見聞きした（34.6%）、痴漢撲滅について、駅構内ポスター・車内広告を見た（34.0%）、帰宅時間が22時を回ることが多い（33.3%）等の行動が多くみられる。
- 目撃・居合わせ経験ありでは、痴漢被害にあわないための講習会や教室に参加した（41.8%）、痴漢撲滅についてのニュースを見聞きした（19.2%）、痴漢撲滅について、駅構内ポスター・車内広告をみた（17.7%）、帰宅時間が22時を回ることが多い（17.1%）等の行動が多くみられる。

次の質問に、「はい」か「いいえ」でお答えください。

【被害・目撃等経験別】 （「はい」の回答比率）

	全体	被害経験あり	目撃・居合わせ経験あり	被害・目撃等経験なし
現在、一人暮らしをしている	2540	667 (26.3%)	320 (12.6%)	1772 (69.8%)
帰宅時間が22時を回ることが多い	1855	617 (33.3%)	318 (17.1%)	1149 (61.9%)
転居・転勤・進学などによって通勤・通学経路が変わった	1861	589 (31.6%)	290 (15.6%)	1174 (63.1%)
痴漢撲滅についてのニュースを見聞きした	2954	1022 (34.6%)	568 (19.2%)	1739 (58.9%)
痴漢撲滅について、駅構内ポスター・車内広告を見た	3687	1255 (34.0%)	652 (17.7%)	2187 (59.3%)
痴漢被害にあわないための講習会や教室に参加した	220	107 (48.6%)	92 (41.8%)	101 (45.9%)
最後に卒業したのは高校である	2005	535 (26.7%)	184 (9.2%)	1406 (70.1%)
最後に卒業したのは大学・大学院である	4466	1253 (28.1%)	589 (13.2%)	2973 (66.6%)
ふだんから話をしている人がたくさんいる	4154	1295 (31.2%)	572 (13.8%)	2657 (64.0%)
心配ごとや困ったことを相談できる人がいる	5509	1708 (31.0%)	681 (12.4%)	3561 (64.6%)

Ⅲ 被害者調査（電車内・駅構内）

【回答者要件】

- 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方
- 通勤・通学に電車を使っている方
- 電車内、駅構内で痴漢にあったことがある方
- 16～39歳

回答者属性①

性別・性自認

- 電車内の被害（以下、「電車内」）：女性89.7%、男性9.4%、ノンバイナリー/Xジェンダー0.9%と、女性が多い。
- 駅構内の被害（以下、「駅構内」）：女性94.3%、男性3.8%、ノンバイナリー/Xジェンダー1.9%と、女性が多い。

あなたの性別または性自認をお答えください。

【電車内】

男性	188 (9.4%)
女性	1803 (89.7%)
ノンバイナリー/Xジェンダー	19 (0.9%)
その他	0 (0.0%)
合計	2010 (100.0%)

【駅構内】

男性	8 (3.8%)
女性	197 (94.3%)
ノンバイナリー/Xジェンダー	4 (1.9%)
その他	0 (0.0%)
合計	209 (100.0%)

回答者属性②

年齢

- 電車内：19歳以下（11.3%）を除き、各年代区分とも約2割。
- 駅構内：20～24歳（21.5%）、35～39歳（26.8%）の順が多い。19歳以下（7.7%）は少ない。

あなたの年齢をお答えください。

【電車内】

19歳以下	228 (11.3%)
20～24歳	569 (28.3%)
25～29歳	372 (18.5%)
30～34歳	400 (19.9%)
35～39歳	441 (21.9%)
合計	2010 (100.0%)

【駅構内】

19歳以下	16 (7.7%)
20～24歳	45 (21.5%)
25～29歳	49 (23.4%)
30～34歳	43 (20.6%)
35～39歳	56 (26.8%)
合計	209 (100.0%)

回答者属性③

職業・学校

- 電車内：会社員・公務員（55.7%）、大学生・大学院生（18.1%）、パート・アルバイト（9.0%）の順が多い。
- 駅構内：会社員・公務員（54.3%）、大学生・大学院生（13.0%）、パート・アルバイト（12.5%）の順が多い。

あなたの現在の職業・学校をお答えください。

【電車内】

高校生	118 (5.9%)
専門学校生・短大生	40 (2.0%)
大学生・大学院生	363 (18.1%)
会社員・公務員	1117 (55.7%)
パート・アルバイト	181 (9.0%)
自営業・自由業	55 (2.7%)
専業主婦・主夫	70 (3.5%)
無職	44 (2.2%)
その他	17 (0.8%)
合計	2005 (100.0%)

【駅構内】

高校生	10 (4.8%)
専門学校生・短大生	2 (1.0%)
大学生・大学院生	27 (13.0%)
会社員・公務員	111 (53.4%)
パート・アルバイト	26 (12.5%)
自営業・自由業	13 (6.3%)
専業主婦・主夫	16 (7.7%)
無職	2 (1.0%)
その他	1 (0.5%)
合計	208 (100.0%)

痴漢被害の経験①

痴漢被害にあった回数

- 電車内：ここ1年では、0回（67.1%）、1回（20.3%）、2回（7.9%）の順、それ以前では、1回（32.5%）、3～5回（20.8%）、0回（20.8%）の順が多い。
- 駅構内：ここ1年では、0回（65.1%）、1回（20.6%）の順、それ以前では、1回（38.3%）、0回（20.1%）の順が多い。

あなたがこれまで東京都内で痴漢被害にあった回数をお答えください。

【電車内】

【駅構内】

(ここ1年)

0回	1348 (67.1%)
1回	408 (20.3%)
2回	158 (7.9%)
3回～5回	82 (4.1%)
6回～10回	9 (0.4%)
11回～20回	1 (0.0%)
21回以上	4 (0.2%)
合計	2010 (100.0%)

0回	136 (65.1%)
1回	43 (20.6%)
2回	23 (11.0%)
3回～5回	5 (2.4%)
6回～10回	2 (1.0%)
11回～20回	0 (0.0%)
21回以上	0 (0.0%)
合計	209 (100.0%)

(それ以前)

0回	418 (20.8%)
1回	654 (32.5%)
2回	368 (18.3%)
3回～5回	418 (20.8%)
6回～10回	90 (4.5%)
11回～20回	31 (1.5%)
21回以上	31 (1.5%)
合計	2010 (100.0%)

0回	42 (20.1%)
1回	80 (38.3%)
2回	41 (19.6%)
3回～5回	36 (17.2%)
6回～10回	4 (1.9%)
11回～20回	3 (1.4%)
21回以上	3 (1.4%)
合計	209 (100.0%)

痴漢被害の経験②

最初に痴漢被害にあったときの職業・学校

- 電車内：高校生（36.5%）、会社員・公務員（18.9%）、大学生・大学院生（18.8%）の順が多い。
- 駅構内：高校生（31.6%）、会社員・公務員（19.6%）、大学生・大学院生（15.8%）の順が多い。

あなたが最初に痴漢被害を受けたときの所属・職業をお答えください。

【電車内】

小学生	100 (5.0%)
中学生	236 (11.7%)
高校生	733 (36.5%)
専門学校生・短大生	82 (4.1%)
大学生・大学院生	378 (18.8%)
会社員・公務員	380 (18.9%)
パート・アルバイト	59 (2.9%)
自営業・自由業	13 (0.6%)
専業主婦・主夫	8 (0.4%)
無職	17 (0.8%)
その他	3 (0.1%)
合計	2009 (100.0%)

【駅構内】

小学生	18 (8.6%)
中学生	17 (8.1%)
高校生	66 (31.6%)
専門学校生・短大生	5 (2.4%)
大学生・大学院生	33 (15.8%)
会社員・公務員	41 (19.6%)
パート・アルバイト	20 (9.6%)
自営業・自由業	3 (1.4%)
専業主婦・主夫	4 (1.9%)
無職	0 (0.0%)
その他	2 (1.0%)
合計	209 (100.0%)

痴漢被害の経験③

痴漢被害にあった直近の時期

- 電車内：10年以上前（21.9%）、5年～10年以内（19.3%）、3年～5年以内（16.5%）の順が多い。
- 駅構内：10年以上前（22.5%）、1年～3年以内（21.5%）、5年～10年以内（20.1%）の順が多い。

あなたが痴漢被害にあった直近の時期をお答えください。

【電車内】

3か月以内	168 (8.4%)
3か月～半年以内	155 (7.7%)
半年～1年以内	273 (13.6%)
1年～3年以内	256 (12.7%)
3年～5年以内	331 (16.5%)
5年～10年以内	387 (19.3%)
10年以上前	440 (21.9%)
合計	2010 (100.0%)

【駅構内】

3か月以内	14 (6.7%)
3か月～半年以内	12 (5.7%)
半年～1年以内	22 (10.5%)
1年～3年以内	45 (21.5%)
3年～5年以内	27 (12.9%)
5年～10年以内	42 (20.1%)
10年以上前	47 (22.5%)
合計	209 (100.0%)

※以下、直近の痴漢被害経験について回答いただいた結果を示す。

痴漢被害の状況③

痴漢被害にあった電車の種別

- 電車内：普通（44.8%）、快速（15.9%）、急行（13.3%）の順で多い。わからないも19.2%となっている。

被害にあったときに乗車していた電車の種別についてお答えください（最も近い選択肢をお選びください）。

【電車内】

特急	105 (5.2%)
急行	267 (13.3%)
快速	320 (15.9%)
準急	33 (1.6%)
普通（各駅停車）	900 (44.8%)
わからない	385 (19.2%)
合計	2010 (100.0%)

痴漢被害の状況④

痴漢被害にあった時期

- 電車内：7月（15.8%）、6月（15.1%）、5月（14.3%）、4月（11.6%）の順が多い。
- 駅構内：6月（14.8%）、5月（14.4%）、7月（11.5%）、8月（11.5%）の順が多い。

被害にあったおおよその時期についてお答えください。

【電車内】

1月	50 (2.5%)
2月	72 (3.6%)
3月	107 (5.3%)
4月	234 (11.6%)
5月	287 (14.3%)
6月	303 (15.1%)
7月	318 (15.8%)
8月	167 (8.3%)
9月	108 (5.4%)
10月	189 (9.4%)
11月	68 (3.4%)
12月	107 (5.3%)
合計	2010 (100.0%)

【駅構内】

1月	1 (0.5%)
2月	9 (4.3%)
3月	17 (8.1%)
4月	18 (8.6%)
5月	30 (14.4%)
6月	31 (14.8%)
7月	24 (11.5%)
8月	24 (11.5%)
9月	19 (9.1%)
10月	17 (8.1%)
11月	10 (4.8%)
12月	9 (4.3%)
合計	209 (100.0%)

痴漢被害の状況⑤

痴漢被害にあった時間帯

- 電車内：7：00～8：00（31.9%）、8：00～9：00（17.6%）の朝のラッシュ時間帯が多い。
- 駅構内：8：00～9：00（13.4%）、10：00～12：00（10.5%）の順が多い等、時間帯が多様。

被害にあったおおよその時間帯についてお答えください。

【電車内】

始発－6：00	13（0.6%）
6：00－7：00	98（4.9%）
7：00－8：00	641（31.9%）
8：00－9：00	354（17.6%）
9：00－10：00	86（4.3%）
10：00－12：00	51（2.5%）
12：00－14：00	44（2.2%）
14：00－16：00	91（4.5%）
16：00－17：00	84（4.2%）
17：00－18：00	86（4.3%）
18：00－19：00	147（7.3%）
19：00－20：00	123（6.1%）
20：00－22：00	122（6.1%）
22：00－終電	70（3.5%）
合計	2010（100.0%）

【駅構内】

始発－6：00	1（0.5%）
6：00－7：00	8（3.8%）
7：00－8：00	21（10.0%）
8：00－9：00	28（13.4%）
9：00－10：00	9（4.3%）
10：00－12：00	22（10.5%）
12：00－14：00	13（6.2%）
14：00－16：00	20（9.6%）
16：00－17：00	19（9.1%）
17：00－18：00	18（8.6%）
18：00－19：00	13（6.2%）
19：00－20：00	13（6.2%）
20：00－22：00	15（7.2%）
22：00－終電	9（4.3%）
合計	209（100.0%）

痴漢被害の状況⑥

痴漢被害にあったときの乗車目的（移動目的）

- 電車内：通学先へ（34.7%）、自宅へ（24.2%）、通勤先へ（22.5%）の順が多い。
- 駅構内：自宅へ（34.0%）、私用（21.5%）の順が多い。

被害にあったとき、どのような目的で移動していたのかお答えください。

【電車内】

通勤先へ	453 (22.5%)
通学先へ	697 (34.7%)
通塾先へ	30 (1.5%)
受験	12 (0.6%)
私用（買物・食事・レクリエーション など）	285 (14.2%)
業務（仕事・配達・会議 など）	18 (0.9%)
自宅へ（帰宅）	487 (24.2%)
その他	28 (1.4%)
合計	2010 (100.0%)

【駅構内】

通勤先へ	29 (13.9%)
通学先へ	37 (17.7%)
通塾先へ	14 (6.7%)
受験	5 (2.4%)
私用（買物・食事・レクリエーション など）	45 (21.5%)
業務（仕事・配達・会議 など）	5 (2.4%)
自宅へ（帰宅）	71 (34.0%)
その他	3 (1.4%)
合計	209 (100.0%)

痴漢被害の状況⑦

痴漢被害にあった車両の位置／場所

- 電車内：真ん中あたりの車両（59.8%）、端の方の車両（29.7%）、一番端の車両（10.6%）の順が多い。
- 駅構内：ホーム（34.9%）、階段・エスカレーター（28.7%）の順が多い。

被害にあったときに乗車していた車両の位置についてお答えください。【電車内】

一番端の車両	213 (10.6%)
端の方の車両（おおむね端から2 - 3両目）	596 (29.7%)
真ん中あたりの車両	1201 (59.8%)
合計	2010 (100.0%)

被害にあった場所についてお答えください。【駅構内】

改札付近	24 (11.5%)
券売所付近	5 (2.4%)
通路	34 (16.3%)
トイレ	7 (3.3%)
ホーム	73 (34.9%)
階段・エスカレーター	60 (28.7%)
エレベーター	2 (1.0%)
その他	4 (1.9%)
合計	209 (100.0%)

痴漢被害の状況⑧

痴漢被害にあった電車の混雑率※／周りの混雑の程度

- 電車内：200%（29.7%）、180%（19.9%）、150%（14.5%）の順が多い。
- 駅構内：周りがある程度の人があった（46.4%）、ある程度混みあっていた（24.4%）の順が多い。

被害にあったときの電車の混雑率についてお答えください。【電車内】

～100%：ほとんど人がいない	136（6.8%）
～100%：空席が見えるなど空いている	164（8.2%）
100%：定員乗車	203（10.1%）
150%：肩が触れる程度	292（14.5%）
180%：体が触れ合うが新聞は読める	400（19.9%）
200%：体が触れ合い相当な圧迫	596（29.7%）
250%：身動きできない	219（10.9%）
合計	2010（100.0%）

被害にあったときの周りの混雑の程度についてお答えください。【駅構内】

周りにほとんど人はいなかった	34（16.3%）
周りがある程度の人があった（問題なく歩行などが可能）	97（46.4%）
ある程度混みあっていた（体が触れ合う程度）	51（24.4%）
とても混みあっていた（身動きができない程度）	27（12.9%）
合計	209（100.0%）

※混雑率の分類は、国等において作成しているものを参考に、本調査において作成したものである。

痴漢被害の状況⑨

痴漢被害にあったときの乗車車両の位置（なぜその車両か）

- 電車内：特に意図したものではない（35.9%）、乗換駅で、階段などに近い車両（24.6%）、乗車駅で、改札・階段などに一番近い車両（19.9%）の順が多い。
- 女性専用車両では、被害が少ない。

被害にあったときにその車両に乗車していた理由をお答えください。

【電車内】

乗車駅で、改札・階段などに一番近い車両	400 (19.9%)
乗り換え駅で、階段などに近い車両	495 (24.6%)
降車駅で、改札・階段などに一番近い車両	371 (18.5%)
女性専用車両	16 (0.8%)
その他	7 (0.3%)
特に意図したものではない	721 (35.9%)
合計	2010 (100.0%)

痴漢被害の状況⑩

痴漢被害にあったときの車両内の位置

- 電車内：座席の前の通路（23.3%）、ドア付近（開閉が多い側）（23.0%）、ドア付近（開閉が少ない側）（20.8%）、ドアとドアの間のスペース（17.2%）の順が多い。
- 約6割の被害が、ドアとドアの間の空間（ドア付近（開閉が多い側 + 開閉が少ない側）とドアとドアの間のスペースの和）において発生している。

被害にあったときに車両内のどこにいたかお答えください。

【電車内】

ドア付近（開閉が多い側）	463（23.0%）
ドア付近（開閉が少ない側）	418（20.8%）
ドアとドアの間のスペース	346（17.2%）
座席の前の通路	469（23.3%）
車両と車両の境目付近	64（3.2%）
座席に座っていた	233（11.6%）
その他	17（0.8%）
合計	2010（100.0%）

痴漢被害の状況⑪

痴漢被害にあったときにしていたこと

- 電車内：スマートフォンの画面を見ていた（41.7%）、音楽を聴いていた（21.6%）、何もしていなかった（18.9%）の順が多い。
- 駅構内：何もしていなかった（34.0%）、スマートフォンの画面を見ていた（22.5%）、音楽を聴いていた（16.3%）の順が多い。

被害にあったときにあなたがしていたことをお答えください。（複数回答）

【電車内】

スマートフォンの画面を見ていた	839 (41.7%)
スマートフォンでゲームなどをしていた	124 (6.2%)
本を読んでいた	72 (3.6%)
音楽を聴いていた	434 (21.6%)
中吊り広告などを見ていた	100 (5.0%)
広報媒体（電車内のモニター画面）を見ていた	65 (3.2%)
寝ていた・目をつむっていた	221 (11.0%)
外を見ていた	200 (10.0%)
周りを見回していた	81 (4.0%)
話をしていた	78 (3.9%)
その他	19 (0.9%)
何もしていなかった	379 (18.9%)
回答件数	2010

【駅構内】

スマートフォンの画面を見ていた	47 (22.5%)
スマートフォンでゲームなどをしていた	12 (5.7%)
本を読んでいた	12 (5.7%)
音楽を聴いていた	34 (16.3%)
広告などを見ていた	20 (9.6%)
目をつむっていた	11 (5.3%)
周りを見回していた	15 (7.2%)
話をしていた	11 (5.3%)
その他	18 (8.6%)
何もしていなかった	71 (34.0%)
回答件数	209

痴漢被害の状況⑫

痴漢被害の内容

- 電車内：衣服ごしに体を触られた（63.6%）、体を密着された（40.6%）、衣服の下から体を触られた（直接触られた）（11.1%）の順が多い。
- 駅構内：衣服ごしに体を触られた（54.5%）、髪を触られた（12.0%）、体を密着された（11.5%）の順が多い。

どのような被害にあったかお答えください。（複数回答）

【電車内】

衣服ごしに体を触られた	1278 (63.6%)
衣服の下から体を触られた（直接触られた）	223 (11.1%)
体を密着された	817 (40.6%)
ボタンなどを外された	43 (2.1%)
髪を触られた	84 (4.2%)
匂いがかがれた	119 (5.9%)
息を吹きかけられた	106 (5.3%)
カバンなどを押し付けられた	196 (9.8%)
AirDropなどで画像を送られた・見せられた	75 (3.7%)
その他	112 (5.6%)
回答件数	2010

【駅構内】

衣服ごしに体を触られた	114 (54.5%)
衣服の下から体を触られた（直接触られた）	19 (9.1%)
体を密着された	24 (11.5%)
ボタンなどを外された	8 (3.8%)
髪を触られた	25 (12.0%)
匂いがかがれた	15 (7.2%)
息を吹きかけられた	15 (7.2%)
カバンなどを押し付けられた	14 (6.7%)
AirDropなどで画像を送られた・見せられた	13 (6.2%)
その他	33 (15.8%)
回答件数	209

痴漢被害の状況⑬

痴漢行為のエスカレート状況

- 電車内：変わらなかった（53.1%）、途中から収まった（27.3%）の順が多い。
- 駅構内：変わらなかった（50.2%）、途中から収まった（41.6%）の順が多い。

被害にあったとき、痴漢行為がエスカレートしていったかお答えください。

【電車内】

エスカレートした	394 (19.6%)
変わらなかった	1067 (53.1%)
途中からおさまった	549 (27.3%)
合計	2010 (100.0%)

【駅構内】

エスカレートした	17 (8.1%)
変わらなかった	105 (50.2%)
途中からおさまった	87 (41.6%)
合計	209 (100.0%)

痴漢被害の状況⑭

痴漢に気づいたタイミング

- 電車内：途中で自分で気づいた（51.1%）、すぐに気づいた（39.7%）の順が多い。
- 駅構内：すぐに気づいた（52.2%）、途中で自分で気づいた（27.3%）の順が多い。

被害にあっていることに、いつ気づきましたか。

【電車内】

すぐに気づいた	797 (39.7%)
途中で自分で気づいた	1028 (51.1%)
周囲の人に言われて気づいた	47 (2.3%)
後から気づいた	138 (6.9%)
合計	2010 (100.0%)

【駅構内】

すぐに気づいた	109 (52.2%)
途中で自分で気づいた	57 (27.3%)
周囲の人に言われて気づいた	22 (10.5%)
後から気づいた	21 (10.0%)
合計	209 (100.0%)

痴漢被害の状況⑮

痴漢被害にあっていることに途中から気がついた理由

- 電車内：最初は、偶然・気のせいだと思っていたから（81.5%）、繰り返されたから（24.6%）の順が多い。
- 駅構内：最初は、偶然・気のせいだと思っていたから（57.9%）、繰り返されたから（35.1%）の順が多い。

被害にあっていることに、途中から気がついた理由をお答えください。（複数回答）

【電車内】

最初は、偶然・気のせいだと思っていたから	838 (81.5%)
繰り返しされたから	271 (26.4%)
途中からエスカレートしたから	100 (9.7%)
その他	24 (2.3%)
回答件数	1028

【駅構内】

最初は、偶然・気のせいだと思っていたから	33 (57.9%)
繰り返しされたから	20 (35.1%)
途中からエスカレートしたから	10 (17.5%)
その他	0 (0.0%)
回答件数	57

痴漢被害の状況⑬

痴漢が止まった理由

- 電車内：自分の目的地に着いた（降りた）（38.9%）、人の乗り降りで距離が離れた（21.9%）、加害者（痴漢）がどこかにいった（降りた）（19.4%）、あなたが痴漢行為をやめさせた（15.2%）の順が多い。
- 駅構内：あなたがその場所を離れた（42.4%）、加害者（痴漢）がどこかにいった（37.9%）、あなたが痴漢行為をやめさせた（10.8%）の順が多い。

被害が止まった理由をお答えください。（複数回答）

【電車内】

あなたが痴漢行為をやめさせた	302 (15.2%)
周囲の人が痴漢行為をやめさせた	56 (2.8%)
自分の目的地に着いた（降りた）	773 (38.9%)
人の乗り降りで距離が離れた	436 (21.9%)
加害者（痴漢）がどこかにいった（降りた）	386 (19.4%)
混雑が解消した	163 (8.2%)
その他	144 (7.2%)
回答件数	1989

【駅構内】

あなたが痴漢行為をやめさせた	22 (10.8%)
周囲の人が痴漢行為をやめさせた	14 (6.9%)
加害者（痴漢）がどこかにいった	77 (37.9%)
あなたがその場所を離れた	86 (42.4%)
混雑が解消した	17 (8.4%)
その他	12 (5.9%)
回答件数	203

痴漢被害の状況⑬

痴漢被害にあったときに行った対応

- 電車内：我慢した・何もできなかった（40.7%）、逃げた・移動した（20.8%）、身体を動かして加害者（痴漢）を止めようとした（17.6%）、持ち物でブロックした（14.3%）の順が多い。
- 駅構内：逃げた・移動した（37.7%）、我慢した・なにもできなかった（24.6%）、持ち物でブロックした（15.5%）、加害者をにらんだ（15.0%）の順が多い。

被害にあったときにあなたが行った対応をお答えください。（複数回答）

【電車内】

我慢した・なにもできなかった	812 (40.7%)
逃げた・移動した	414 (20.8%)
周囲にアプリを使用して助けを求めた	28 (1.4%)
周囲に目配せや合図をした	59 (3.0%)
周囲に対して声を出して助けを求めた	47 (2.4%)
持ち物でブロックした	286 (14.3%)
身体を動かして加害者（痴漢）を止めようとした	352 (17.6%)
加害者（痴漢）をにらんだ	254 (12.7%)
加害者（痴漢）の手をつかんだ・はらった・声を出した	167 (8.4%)
その他	77 (3.9%)
回答件数	1995

【駅構内】

我慢した・なにもできなかった	51 (24.6%)
逃げた・移動した	78 (37.7%)
周囲にアプリを使用して助けを求めた	13 (6.3%)
周囲に目配せや合図をした	17 (8.2%)
周囲に対して声を出して助けを求めた	11 (5.3%)
持ち物でブロックした	32 (15.5%)
身体を動かして加害者（痴漢）を止めようとした	19 (9.2%)
加害者（痴漢）をにらんだ	31 (15.0%)
加害者（痴漢）の手をつかんだ・はらった・声を出した	21 (10.1%)
その他	9 (4.3%)
回答件数	207

痴漢被害の状況⑱

行った対応により痴漢が止まったか

- 電車内：止まった（71.7%）、止まらなかった（28.3%）となっている。
- 駅構内：止まった（80.8%）、止まらなかった（19.2%）となっている。

あなたが行った対応によって被害が止まったかお答えください。

【電車内】

止まった	848 (71.7%)
止まらなかった	335 (28.3%)
合計	1183 (100.0%)

【駅構内】

止まった	126 (80.8%)
止まらなかった	30 (19.2%)
合計	156 (100.0%)

痴漢被害の状況⑱

痴漢被害にあったときの気持ちや状態

- 電車内：驚いた（53.8%）、怖かった（45.4%）、怒りを感じた・反撃したいと思った（30.7%）、逃げたいと思った（24.1%）、身体が動かなかった・声が出なかった（22.6%）の順が多い。
- 駅構内：驚いた（55.0%）、怖かった（42.1%）、怒りを感じた・反撃したいと思った（34.4%）、身体が動かなかった・声が出なかった（21.5%）の順が多い。

痴漢被害を受けた時のあなたの気持ちや状態についてお答えください。（複数回答）

【電車内】

驚いた	1081 (53.8%)
怖かった	912 (45.4%)
恥ずかしいと思った	192 (9.6%)
怒りを感じた・反撃したいと思った	618 (30.7%)
身体が動かなかった・声が出なかった	455 (22.6%)
自分がどこか遠くにいる感じがした	57 (2.8%)
周りの人に気づかれなくなかった	111 (5.5%)
どうすればよいか冷静に考えた	269 (13.4%)
混んでいて身動きが取れなかった	396 (19.7%)
逃げたいと思った	484 (24.1%)
誰かに助けを求めたいと思った	219 (10.9%)
少し我慢すれば目的地につくと思った ／少し我慢すれば終わると思った	322 (16.0%)
いつものことだと思った	66 (3.3%)
たいしたことがないと思った	107 (5.3%)
痴漢だと気づいていなかった	108 (5.4%)
その他	66 (3.3%)
回答件数	2010

【駅構内】

驚いた	115 (55.0%)
怖かった	88 (42.1%)
恥ずかしいと思った	29 (13.9%)
怒りを感じた・反撃したいと思った	72 (34.4%)
身体が動かなかった・声が出なかった	45 (21.5%)
自分がどこか遠くにいる感じがした	16 (7.7%)
周りの人に気づかれなくなかった	14 (6.7%)
どうすればよいか冷静に考えた	21 (10.0%)
混んでいて身動きが取れなかった	14 (6.7%)
逃げたいと思った	31 (14.8%)
誰かに助けを求めたいと思った	24 (11.5%)
少し我慢すれば目的地につくと思った ／少し我慢すれば終わると思った	15 (7.2%)
いつものことだと思った	8 (3.8%)
たいしたことがないと思った	13 (6.2%)
痴漢だと気づいていなかった	14 (6.7%)
その他	5 (2.4%)
回答件数	209

周囲の人の対応①

周囲の人は痴漢被害に気づいたか

- 電車内：はい（8.6%）、いいえ（49.1%）、わからない（42.3%）となっている。
- 駅構内：はい（14.2%）、いいえ（51.0%）、わからない（34.8%）となっている。

周囲にいた人はあなたの被害に気が付きましたか。

【電車内】

はい	171 (8.6%)
いいえ	980 (49.1%)
わからない	843 (42.3%)
合計	1994 (100.0%)

【駅構内】

はい	29 (14.2%)
いいえ	104 (51.0%)
わからない	71 (34.8%)
合計	204 (100.0%)

周囲の人の対応②

周囲の人の反応

- 電車内：助けてくれた（56.1%）が多い。
- 駅構内：助けてくれた（65.5%）が多い。

あなたの被害に気づいた周囲にいた人の反応についてお答えください。

【電車内】

助けてくれた	96 (56.1%)
助けてくれなかった	54 (31.6%)
わからない	21 (12.3%)
合計	171 (100.0%)

【駅構内】

助けてくれた	19 (65.5%)
助けてくれなかった	8 (27.6%)
わからない	2 (6.9%)
合計	29 (100.0%)

周囲の人の対応③

周囲の人が助けてくれた方法

- 電車内：直接加害者（痴漢）の行為を止めてくれた（44.8%）、私に声をかけてくれた（41.7%）、加害者（痴漢）と引き離してくれた（37.5%）の順が多い。
- 駅構内：回答数が少ないことに留意が必要だが、私に声をかけてくれた（52.6%）、直接加害者（痴漢）の行為を止めてくれた（47.4%）の順が多い。

周囲にいた人はあなたをどのような方法で助けてくれましたか。（複数回答）

【電車内】

直接加害者（痴漢）の行為を止めてくれた	43（44.8%）
加害者（痴漢）と引き離してくれた	36（37.5%）
私に声をかけてくれた	40（41.7%）
周りに伝えてくれた	10（10.4%）
一緒に降りてくれた	16（16.7%）
その他	2（2.1%）
回答件数	96

【駅構内】

直接加害者（痴漢）の行為を止めてくれた	9（47.4%）
加害者（痴漢）と引き離してくれた	5（26.3%）
私に声をかけてくれた	10（52.6%）
周りに伝えてくれた	4（21.1%）
一緒に降りてくれた	0（0.0%）
その他	0（0.0%）
回答件数	19

周囲の人の対応④

周囲の人の対応により痴漢が止まったか

- 電車内：止まった（92.7%）、止まらない（7.3%）となっている。
- 駅構内：回答数が少ないことに留意が必要だが、止まったが94.7%となっている。

周囲にいた人が行った対応によって被害が止まったかお答えください。

【電車内】

止まった	89 (92.7%)
止まらなかった	7 (7.3%)
合計	96 (100.0%)

【駅構内】

止まった	18 (94.7%)
止まらなかった	1 (5.3%)
合計	19 (100.0%)

周囲の人の対応⑤

周囲の人にしてほしかったこと

- 電車内：周りの人が助けてくれることには期待していない（43.5%）、痴漢している人を止めてほしかった（31.0%）、自分で解決する問題だと思った（21.0%）、痴漢から自分を守ってほしかった（20.0%）の順が多い。
- 駅構内：周りの人が助けてくれることには期待していない（45.9%）、痴漢している人を止めてほしかった（31.6%）、自分で解決する問題だと思った（16.3%）、痴漢から自分を守ってほしかった（14.4%）の順が多い。

周囲にいた人に対してどのようにしてほしかったかお答えください。（複数回答）

【電車内】

痴漢から自分を守ってほしかった	401 (20.0%)
痴漢している人を止めてほしかった	623 (31.0%)
気づかれなくてよかった	256 (12.7%)
周りの人が助けてくれることには期待していない	875 (43.5%)
自分で解決する問題だと思った	423 (21.0%)
その他	39 (1.9%)
回答件数	2010

【駅構内】

痴漢から自分を守ってほしかった	30 (14.4%)
痴漢している人を止めてほしかった	66 (31.6%)
気づかれなくてよかった	22 (10.5%)
周りの人が助けてくれることには期待していない	96 (45.9%)
自分で解決する問題だと思った	34 (16.3%)
その他	7 (3.3%)
回答件数	209

届け出・連絡・相談状況①

届け出・連絡・相談状況（被害にあったときかその直後）

- 電車内：被害直後は誰にも連絡などしていないは62.4%。届け出・連絡・相談者は、恋人・友人・知人（21.0%）、家族（13.5%）、駅職員（6.2%）、警察（3.7%）、学校の先生（3.0%）、職場の同僚（2.5%）の順が多い。
- 駅構内：被害直後は誰にも連絡などしていないは45.9%。届け出・連絡・相談者は、恋人・友人・知人（21.1%）、家族（18.7%）、駅職員（9.6%）、警察（9.1%）、職場の同僚（5.3%）の順が多い。

あなたは被害にあった時かその直後（降車後すぐに、または、その場で）に次のような人や機関に届け出・連絡・相談をしましたか。（複数回答）

【電車内】

駅職員	125 (6.2%)
警察	74 (3.7%)
相談機関	34 (1.7%)
家族	271 (13.5%)
恋人・友人・知人	423 (21.0%)
学校の先生	61 (3.0%)
職場の同僚	50 (2.5%)
職場の上司	23 (1.1%)
その他の機関・人	4 (0.2%)
被害直後は誰にも連絡などしていない	1254 (62.4%)
回答件数	2010

【駅構内】

駅職員	20 (9.6%)
警察	19 (9.1%)
相談機関	14 (6.7%)
家族	39 (18.7%)
恋人・友人・知人	44 (21.1%)
学校の先生	10 (4.8%)
職場の同僚	11 (5.3%)
職場の上司	3 (1.4%)
その他の機関・人	1 (0.5%)
被害直後は誰にも連絡などしていない	96 (45.9%)
回答件数	209

届け出・連絡・相談状況②

届け出・連絡・相談状況（被害のしばらく後）

- 電車内：被害のしばらく後は誰にも連絡などしていないは71.3%。届け出・連絡・相談者は、恋人・友人・知人（15.1%）、家族（9.9%）、駅職員（3.7%）、警察（3.3%）の順が多い。
- 駅構内：被害のしばらく後は誰にも連絡などしていないは56.9%。届け出・連絡・相談者は、恋人・友人・知人（19.6%）、家族（19.1%）の順が多い。

あなたは被害のしばらく後（通勤・通学先や帰宅後、翌日以降など）に次のような人や機関に届け出・連絡・相談をしましたか。（複数回答）

【電車内】

駅職員	75 (3.7%)
警察	67 (3.3%)
相談機関	34 (1.7%)
家族	199 (9.9%)
恋人・友人・知人	303 (15.1%)
学校の先生	39 (1.9%)
職場の同僚	39 (1.9%)
職場の上司	25 (1.2%)
その他の機関・人	4 (0.2%)
被害のしばらく後は誰にも連絡などしていない	1434 (71.3%)
回答件数	2010

【駅構内】

駅職員	9 (4.3%)
警察	14 (6.7%)
相談機関	8 (3.8%)
家族	40 (19.1%)
恋人・友人・知人	41 (19.6%)
学校の先生	12 (5.7%)
職場の同僚	9 (4.3%)
職場の上司	3 (1.4%)
その他の機関・人	0 (0.0%)
被害のしばらく後は誰にも連絡などしていない	119 (56.9%)
回答件数	209

届け出・連絡・相談状況③

届け出・連絡・相談しなかった理由（直後）

- 電車内：めんどうだったから（46.2%）、時間がなかったから（遅刻など）（28.6%）、痴漢か確信が持たなかった／勘違いだったら恥ずかしい（19.2%）、犯人が捕まらないと思ったから（19.1%）の順が多い。
- 駅構内：めんどうだったから（37.5%）、時間がなかったから（遅刻など）（31.3%）、大したことではなかったから（25.0%）の順が多い。

被害後、誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由をお答えください（直後）。（複数回答）

【電車内】

めんどうだったから	579 (46.2%)
時間がなかったから（遅刻など）	359 (28.6%)
ショックで何も考えられなかったから	170 (13.6%)
恥ずかしかったから	176 (14.0%)
家族などに心配をかけたくなかったから	188 (15.0%)
他人に知られたくなかったから	159 (12.7%)
相手から嫌なことを言われそうだったから	41 (3.3%)
犯人が捕まらないと思ったから	240 (19.1%)
逆恨みが怖かったから	71 (5.7%)
痴漢か確信が持てなかった／勘違いだったら恥ずかしい	241 (19.2%)
大したことではなかったから	200 (15.9%)
どのような相談機関があるのか不明だったから	107 (8.5%)
相談機関の連絡先がわからなかったから	98 (7.8%)
その他	36 (2.9%)
回答件数	1254

【駅構内】

めんどうだったから	36 (37.5%)
時間がなかったから（遅刻など）	30 (31.3%)
ショックで何も考えられなかったから	11 (11.5%)
恥ずかしかったから	9 (9.4%)
家族などに心配をかけたくなかったから	14 (14.6%)
他人に知られたくなかったから	7 (7.3%)
相手から嫌なことを言われそうだったから	6 (6.3%)
犯人が捕まらないと思ったから	21 (21.9%)
逆恨みが怖かったから	5 (5.2%)
痴漢か確信が持てなかった／勘違いだったら恥ずかしい	21 (21.9%)
大したことではなかったから	24 (25.0%)
どのような相談機関があるのか不明だったから	9 (9.4%)
相談機関の連絡先がわからなかったから	9 (9.4%)
その他	6 (6.3%)
回答件数	96

届け出・連絡・相談状況④

届け出・連絡・相談しなかった理由（しばらく後）

- 電車内：めんどうだったから（45.7%）、犯人が捕まらないと思ったから（20.4%）、大したことではなかったから（17.8%）、痴漢か確信が持てなかった/勘違いだったら恥ずかしい（16.2%）の順が多い。
- 駅構内：電車内：めんどうだったから（37.0%）、犯人が捕まらないと思ったから（30.3%）、大したことではなかったから（25.2%）の順が多い。

被害後、誰にも届け出・連絡・相談をしなかった理由をお答えください（しばらく後）。（複数回答）

【電車内】

めんどうだったから	656 (45.7%)
時間がなかったから（遅刻など）	188 (13.1%)
ショックで何も考えられなかったから	108 (7.5%)
恥ずかしかったから	161 (11.2%)
家族などに心配をかけたくなかったから	208 (14.5%)
他人に知られたくなかったから	173 (12.1%)
相手から嫌なことを言われそうだったから	39 (2.7%)
犯人が捕まらないと思ったから	292 (20.4%)
逆恨みが怖かったから	72 (5.0%)
痴漢か確信が持てなかった/勘違いだったら恥ずかしい	232 (16.2%)
大したことではなかったから	255 (17.8%)
どのような相談機関があるのか不明だったから	147 (10.3%)
相談機関の連絡先がわからなかったから	143 (10.0%)
その他	38 (2.6%)
回答件数	1434

【駅構内】

めんどうだったから	44 (37.0%)
時間がなかったから（遅刻など）	16 (13.4%)
ショックで何も考えられなかったから	5 (4.2%)
恥ずかしかったから	8 (6.7%)
家族などに心配をかけたくなかったから	18 (15.1%)
他人に知られたくなかったから	10 (8.4%)
相手から嫌なことを言われそうだったから	7 (5.9%)
犯人が捕まらないと思ったから	36 (30.3%)
逆恨みが怖かったから	10 (8.4%)
痴漢か確信が持てなかった/勘違いだったら恥ずかしい	18 (15.1%)
大したことではなかったから	30 (25.2%)
どのような相談機関があるのか不明だったから	17 (14.3%)
相談機関の連絡先がわからなかったから	12 (10.1%)
その他	7 (5.9%)
回答件数	119

届け出・連絡・相談状況⑤

連絡した機関名

- 電車内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、東京ウィメンズプラザが35.4%、東京都女性相談センターが27.1%となっている。
- 駅構内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、東京都女性相談センターが50.0%、警視庁総合相談センターが43.8%となっている。

連絡した機関名についてお答えください。（複数回答）

【電車内】

性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター	11 (22.9%)
東京都若者総合相談センター（若ナビα）	10 (20.8%)
東京ウィメンズプラザ	17 (35.4%)
東京都女性相談センター	13 (27.1%)
警視庁総合相談センター	9 (18.8%)
性犯罪被害相談電話（ハートさん）	2 (4.2%)
弁護士	3 (6.3%)
その他	1 (2.1%)
回答件数	48

【駅構内】

性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター	1 (6.3%)
東京都若者総合相談センター（若ナビα）	4 (25.0%)
東京ウィメンズプラザ	6 (37.5%)
東京都女性相談センター	8 (50.0%)
警視庁総合相談センター	7 (43.8%)
性犯罪被害相談電話（ハートさん）	1 (6.3%)
弁護士	0 (0.0%)
その他	0 (0.0%)
回答件数	16

届け出・連絡・相談状況⑥

その機関を知った理由

- 電車内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、その場で調べた（49.0%）、被害後に調べた（29.4%）が多くなっている。
- 駅構内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、その場で調べた（33.3%）、周囲にポスターなどがあつた（27.8%）、被害後に調べた（27.8%）等の回答がみられる。

どのようにその機関を知ったかお答えください。（複数回答）

【電車内】

知っていた	5 (9.8%)
周囲にポスターなどがあつた	10 (19.6%)
その場で調べた	25 (49.0%)
被害後に調べた	15 (29.4%)
以前に利用したことがあつた	7 (13.7%)
周囲の人が連絡をした	2 (3.9%)
その他	0 (0.0%)
回答件数	51

【駅構内】

知っていた	1 (5.6%)
周囲にポスターなどがあつた	5 (27.8%)
その場で調べた	6 (33.3%)
被害後に調べた	5 (27.8%)
以前に利用したことがあつた	4 (22.2%)
周囲の人が連絡をした	2 (11.1%)
その他	0 (0.0%)
回答件数	18

届け出・連絡・相談状況⑦

被害直後、どうしたかったか

- 電車内：特に何もしたくなかった（58.1%）、気軽に届け出る・連絡する方法があれば何かしたかった（21.7%）、警察に届けたかった（13.4%）の順が多い。
- 駅構内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、特に何もしたくなかった（43.8%）、気軽に届け出る・連絡する方法があれば何かしたかった（26.0%）、警察に届けたかった（22.9%）の順が多い。

被害直後、本当はどのようにしたかったかお答えください。（複数回答）

【電車内】

駅職員に届け出たかった	154 (12.3%)
警察に届け出たかった	168 (13.4%)
相談機関に連絡したかった	53 (4.2%)
匿名で行政の相談窓口で連絡・相談したかった	72 (5.7%)
気軽に届け出る・連絡する方法があれば何かしたかった	272 (21.7%)
その他	34 (2.7%)
特に何もしたくなかった	729 (58.1%)
回答件数	1254

【駅構内】

駅職員に届け出たかった	17 (17.7%)
警察に届け出たかった	22 (22.9%)
相談機関に連絡したかった	0 (0.0%)
匿名で行政の相談窓口で連絡・相談したかった	7 (7.3%)
気軽に届け出る・連絡する方法があれば何かしたかった	25 (26.0%)
その他	3 (3.1%)
特に何もしたくなかった	42 (43.8%)
回答件数	96

届け出・連絡・相談状況⑧

届け出・連絡・相談した方がしてくれたこと（駅職員）

- 電車内：話を聞いてくれた（69.7%）、一緒にいてくれた（19.7%）、必要な情報を教えてくれた（14.8%）の順が多い。
- 駅構内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、話を聞いてくれた（34.8%）、一緒にいてくれた（30.4%）等の回答がみられている。

駅職員は、あなたにどのようなことをしてくれましたか。（複数回答）

【電車内】

話を聞いてくれた	99 (69.7%)
一緒にいてくれた	28 (19.7%)
励ましたり慰めてくれた	19 (13.4%)
必要な情報を教えてくれた	21 (14.8%)
具体的なアドバイスをしてくれた	9 (6.3%)
一緒に届け出てくれた	12 (8.5%)
代わりに届け出てくれた	5 (3.5%)
その他	3 (2.1%)
これらのことはなかった	10 (7.0%)
回答件数	142

【駅構内】

話を聞いてくれた	8 (34.8%)
一緒にいてくれた	7 (30.4%)
励ましたり慰めてくれた	3 (13.0%)
必要な情報を教えてくれた	5 (21.7%)
具体的なアドバイスをしてくれた	2 (8.7%)
一緒に届け出てくれた	2 (8.7%)
代わりに届け出てくれた	0 (0.0%)
その他	1 (4.3%)
これらのことはなかった	3 (13.0%)
回答件数	23

届け出・連絡・相談状況⑨

届け出・連絡・相談した方がしてくれたこと（警察）

- 電車内：話を聞いてくれた（61.4%）、一緒にいてくれた（28.7%）、必要な情報を教えてくれた（24.8%）の順が多い。
- 駅構内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、話を聞いてくれた（41.7%）、必要な情報を教えてくれた（29.2%）等の回答がみられている。

警察は、あなたにどのようなことをしてくれましたか。（複数回答）

【電車内】

話を聞いてくれた	62 (61.4%)
一緒にいてくれた	29 (28.7%)
励ましたり慰めてくれた	17 (16.8%)
必要な情報を教えてくれた	25 (24.8%)
具体的なアドバイスをしてくれた	13 (12.9%)
一緒に届け出てくれた	6 (5.9%)
代わりに届け出てくれた	4 (4.0%)
その他	3 (3.0%)
これらのことはなかった	9 (8.9%)
回答件数	101

【駅構内】

話を聞いてくれた	10 (41.7%)
一緒にいてくれた	6 (25.0%)
励ましたり慰めてくれた	5 (20.8%)
必要な情報を教えてくれた	7 (29.2%)
具体的なアドバイスをしてくれた	3 (12.5%)
一緒に届け出てくれた	3 (12.5%)
代わりに届け出てくれた	0 (0.0%)
その他	0 (0.0%)
これらのことはなかった	2 (8.3%)
回答件数	24

届け出・連絡・相談状況⑩

届け出・連絡・相談した方がしてくれたこと（相談機関）

- 電車内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、話を聞いてくれた（51.0%）、励ましたり慰めてくれた（23.5%）の順が多い。
- 駅構内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、一緒にいてくれた（50.0%）、話を聞いてくれた（33.3%）等の回答がみられている。

相談機関は、あなたにどのようなことをしてくれましたか。（複数回答）

【電車内】

話を聞いてくれた	26 (51.0%)
一緒にいてくれた	10 (19.6%)
励ましたり慰めてくれた	12 (23.5%)
必要な情報を教えてくれた	10 (19.6%)
具体的なアドバイスをしてくれた	3 (5.9%)
一緒に届け出てくれた	1 (2.0%)
代わりに届け出てくれた	1 (2.0%)
その他	0 (0.0%)
これらのことはなかった	3 (5.9%)
回答件数	51

【駅構内】

話を聞いてくれた	6 (33.3%)
一緒にいてくれた	9 (50.0%)
励ましたり慰めてくれた	3 (16.7%)
必要な情報を教えてくれた	2 (11.1%)
具体的なアドバイスをしてくれた	2 (11.1%)
一緒に届け出てくれた	1 (5.6%)
代わりに届け出てくれた	0 (0.0%)
その他	0 (0.0%)
これらのことはなかった	0 (0.0%)
回答件数	18

届け出・連絡・相談状況⑪

届け出・連絡・相談した方がしてくれたこと（家族）

- 電車内：話を聞いてくれた（82.2%）、励ましたり慰めてくれた（26.8%）、一緒にいてくれた（21.6%）の順が多い。
- 駅構内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、話を聞いてくれた（73.8%）、励ましたり慰めてくれた（32.8%）の順が多い。

家族は、あなたにどのようなことをしてくれましたか。（複数回答）

【電車内】

話を聞いてくれた	300 (82.2%)
一緒にいてくれた	79 (21.6%)
励ましたり慰めてくれた	98 (26.8%)
必要な情報を教えてくれた	43 (11.8%)
具体的なアドバイスをしてくれた	53 (14.5%)
一緒に届け出てくれた	5 (1.4%)
代わりに届け出てくれた	3 (0.8%)
その他	0 (0.0%)
これらのことはなかった	7 (1.9%)
回答件数	365

【駅構内】

話を聞いてくれた	45 (73.8%)
一緒にいてくれた	14 (23.0%)
励ましたり慰めてくれた	20 (32.8%)
必要な情報を教えてくれた	8 (13.1%)
具体的なアドバイスをしてくれた	6 (9.8%)
一緒に届け出てくれた	0 (0.0%)
代わりに届け出てくれた	1 (1.6%)
その他	0 (0.0%)
これらのことはなかった	0 (0.0%)
回答件数	61

届け出・連絡・相談状況⑫

届け出・連絡・相談した方がしてくれたこと（恋人・友人・知人）

- 電車内：話を聞いてくれた（87.3%）、励ましたり慰めてくれた（32.9%）、一緒にいてくれた（23.5%）の順が多い。
- 駅構内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、話を聞いてくれた（75.8%）、励ましたり慰めてくれた（37.1%）の順が多い。

恋人・友人・知人員は、あなたにどのようなことをしてくれましたか。（複数回答）

【電車内】

話を聞いてくれた	480 (87.3%)
一緒にいてくれた	129 (23.5%)
励ましたり慰めてくれた	181 (32.9%)
必要な情報を教えてくれた	45 (8.2%)
具体的なアドバイスをしてくれた	46 (8.4%)
一緒に届け出てくれた	4 (0.7%)
代わりに届け出てくれた	2 (0.4%)
その他	6 (1.1%)
これらのことはなかった	9 (1.6%)
回答件数	550

【駅構内】

話を聞いてくれた	47 (75.8%)
一緒にいてくれた	19 (30.6%)
励ましたり慰めてくれた	23 (37.1%)
必要な情報を教えてくれた	8 (12.9%)
具体的なアドバイスをしてくれた	6 (9.7%)
一緒に届け出てくれた	0 (0.0%)
代わりに届け出てくれた	0 (0.0%)
その他	0 (0.0%)
これらのことはなかった	1 (1.6%)
回答件数	62

届け出・連絡・相談状況⑬

届け出・連絡・相談した方がしてくれたこと（学校の先生）

- 電車内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、話を聞いてくれた（73.8%）、具体的なアドバイスをしてくれた（28.8%）、励ましたり慰めてくれたりした（20.0%）の順が多い。
- 駅構内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、話を聞いてくれた（47.1%）等の回答がみられている。

学校の先生は、あなたにどのようなことをしてくれましたか。（複数回答）

【電車内】

話を聞いてくれた	59 (73.8%)
一緒にいてくれた	15 (18.8%)
励ましたり慰めてくれた	16 (20.0%)
必要な情報を教えてくれた	14 (17.5%)
具体的なアドバイスをしてくれた	23 (28.8%)
一緒に届け出てくれた	2 (2.5%)
代わりに届け出てくれた	1 (1.3%)
その他	0 (0.0%)
これらのことはなかった	3 (3.8%)
回答件数	80

【駅構内】

話を聞いてくれた	8 (47.1%)
一緒にいてくれた	6 (35.3%)
励ましたり慰めてくれた	4 (23.5%)
必要な情報を教えてくれた	4 (23.5%)
具体的なアドバイスをしてくれた	1 (5.9%)
一緒に届け出てくれた	2 (11.8%)
代わりに届け出てくれた	1 (5.9%)
その他	0 (0.0%)
これらのことはなかった	1 (5.9%)
回答件数	17

届け出・連絡・相談状況⑭

届け出・連絡・相談した方がしてくれたこと（職場の同僚）

- 電車内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、話を聞いてくれた（82.4%）、励ましたり慰めてくれた（32.4%）の順が多い。
- 駅構内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、話を聞いてくれた（46.7%）、励ましたり慰めてください（46.7%）等の回答がみられている。

職場の同僚は、あなたにどのようなことをしてくれましたか。（複数回答）

【電車内】

話を聞いてくれた	56 (82.4%)
一緒にいてくれた	10 (14.7%)
励ましたり慰めてくれた	22 (32.4%)
必要な情報を教えてくれた	13 (19.1%)
具体的なアドバイスをしてくれた	12 (17.6%)
一緒に届け出てくれた	0 (0.0%)
代わりに届け出てくれた	0 (0.0%)
その他	0 (0.0%)
これらのことはなかった	0 (0.0%)
回答件数	68

【駅構内】

話を聞いてくれた	7 (46.7%)
一緒にいてくれた	4 (26.7%)
励ましたり慰めてくれた	7 (46.7%)
必要な情報を教えてくれた	1 (6.7%)
具体的なアドバイスをしてくれた	2 (13.3%)
一緒に届け出てくれた	0 (0.0%)
代わりに届け出てくれた	0 (0.0%)
その他	0 (0.0%)
これらのことはなかった	0 (0.0%)
回答件数	15

届け出・連絡・相談状況⑮

届け出・連絡・相談した方がしてくれたこと（職場の上司）

- 電車内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、話を聞いてくれた（76.3%）、励ましたり慰めてくれた（28.9%）、具体的なアドバイスをくれた（23.7%）の順が多い。
- 駅構内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、話を聞いてくれた（40.0%）、励ましたり慰めてくれた（40.0%）等の回答がみられている。

職場の上司は、あなたにどのようなことをしてくれましたか。（複数回答）

【電車内】

話を聞いてくれた	29 (76.3%)
一緒にいてくれた	5 (13.2%)
励ましたり慰めてくれた	11 (28.9%)
必要な情報を教えてくれた	7 (18.4%)
具体的なアドバイスをしてくれた	9 (23.7%)
一緒に届け出てくれた	2 (5.3%)
代わりに届け出てくれた	0 (0.0%)
その他	0 (0.0%)
これらのことはなかった	0 (0.0%)
回答件数	38

【駅構内】

話を聞いてくれた	2 (40.0%)
一緒にいてくれた	1 (20.0%)
励ましたり慰めてくれた	2 (40.0%)
必要な情報を教えてくれた	2 (40.0%)
具体的なアドバイスをしてくれた	0 (0.0%)
一緒に届け出てくれた	0 (0.0%)
代わりに届け出てくれた	0 (0.0%)
その他	0 (0.0%)
これらのことはなかった	0 (0.0%)
回答件数	5

届け出・連絡・相談状況⑬

相談した結果、どのような気持ちになったか

- 電車内：気持ちが楽になった（63.2%）、何も変わらなかった（26.5%）、話さなければよかった（7.1%）、むしろつらくなった（5.8%）となっている。
- 駅構内：気持ちが楽になった（49.2%）、何も変わらなかった（28.5%）、話さなければよかった（15.4%）、むしろつらくなった（8.5%）となっている。

相談した結果、どのような気持ちになったかお答えください。（複数回答）

【電車内】

気持ちが楽になった	571 (63.2%)
むしろつらくなった	52 (5.8%)
話さなければよかった	64 (7.1%)
何も変わらなかった	240 (26.5%)
その他	10 (1.1%)
回答件数	904

【駅構内】

気持ちが楽になった	64 (49.2%)
むしろつらくなった	11 (8.5%)
話さなければよかった	20 (15.4%)
何も変わらなかった	37 (28.5%)
その他	2 (1.5%)
回答件数	130

届け出・連絡・相談状況⑰

相談した結果、そのような気持ちになった理由

- 電車内：理由はわからない（47.3%）、共感してくれなかった（15.6%）の順が多い。
- 駅構内：理由はわからない（36.2%）、当たり前のことしか言ってくれない（22.3%）の順が多い。

相談した結果、そのような気持ちになった理由をお答えください。（複数回答）

【電車内】

共感してくれなかった	141 (15.6%)
自分が悪いような気分になった	67 (7.4%)
当たり前のことしか言ってくれない	93 (10.3%)
思い出してつらくなった	93 (10.3%)
理由はわからない	428 (47.3%)
その他	129 (14.3%)
回答件数	904

【駅構内】

共感してくれなかった	13 (10.0%)
自分が悪いような気分になった	16 (12.3%)
当たり前のことしか言ってくれない	29 (22.3%)
思い出してつらくなった	11 (8.5%)
理由はわからない	47 (36.2%)
その他	22 (16.9%)
回答件数	130

痴漢被害の心身への影響

痴漢被害の心身への影響

- 電車内：特に心身への影響はなかった（61.4%）、フラッシュバックすることがある（14.1%）、電車に乗れなくなった／駅構内にいるのが怖くなった（13.2%）の順が多い。
- 駅構内：特に心身への影響はなかった（50.2%）、加害者（痴漢）と同じ性別の人を避けるようになった（15.8%）、フラッシュバックすることがある（14.4%）、電車に乗れなくなった／駅構内にいるのが怖くなった（14.4%）の順が多い。

被害後の心身への影響について、あてはまるものをお答えください。（複数回答）

【電車内】

フラッシュバックすることがある	283 (14.1%)
眠れなくなった	57 (2.8%)
電車に乗れなくなった／駅構内（ホームなど）にいるのが怖くなった	266 (13.2%)
外に出られなくなった	42 (2.1%)
自分に価値がないと感じるようになった	53 (2.6%)
死にたい・消えたい気持ちになった	49 (2.4%)
加害者（痴漢）と同じ性別の人を避けるようになった	194 (9.7%)
人間不信になった	168 (8.4%)
社会が信じられなくなった	118 (5.9%)
うつ病やパニック障害と診断された	17 (0.8%)
P T S Dと診断された	7 (0.3%)
その他	47 (2.3%)
特に心身への影響はなかった	1235 (61.4%)
回答件数	2010

【駅構内】

フラッシュバックすることがある	30 (14.4%)
眠れなくなった	11 (5.3%)
電車に乗れなくなった／駅構内（ホームなど）にいるのが怖くなった	30 (14.4%)
外に出られなくなった	4 (1.9%)
自分に価値がないと感じるようになった	18 (8.6%)
死にたい・消えたい気持ちになった	14 (6.7%)
加害者（痴漢）と同じ性別の人を避けるようになった	33 (15.8%)
人間不信になった	28 (13.4%)
社会が信じられなくなった	23 (11.0%)
うつ病やパニック障害と診断された	4 (1.9%)
P T S Dと診断された	3 (1.4%)
その他	10 (4.8%)
特に心身への影響はなかった	105 (50.2%)
回答件数	209

IV 第三者調査（電車内・駅構内）

【回答者要件】

- 東京都内在住または東京都に通勤・通学等をする方
- 通勤・通学に電車を使っている方
- 電車内、駅構内で痴漢を目撃または痴漢の現場に居合わせたことがある方
- 16～69歳

回答者属性①

性別・性自認

- 電車内：男性35.9%、女性63.1%、ノンバイナリー/Xジェンダー1.1%となっている。
- 駅構内：男性42.9%、女性56.7%、ノンバイナリー/Xジェンダー0.3%となっている。

あなたの性別または性自認をお答えください。

【電車内】

男性	374 (35.9%)
女性	657 (63.1%)
ノンバイナリー/Xジェンダー	11 (1.1%)
その他	0 (0.0%)
合計	1042 (100.0%)

【駅構内】

男性	134 (42.9%)
女性	177 (56.7%)
ノンバイナリー/Xジェンダー	1 (0.3%)
その他	0 (0.0%)
合計	312 (100.0%)

回答者属性②

年齢

- 電車内：20～39歳までの年代区分は1～2割、その他の年代区分は4～6%台となっている（概ね、SC調査回答者の年代区分と同様の分布を示している）。
- 駅構内：25～39歳までの年代区分は1～2割、その他の年代区分は2～8%台となっている。

あなたの年齢をお答えください。

【電車内】

19歳以下	61 (5.9%)
20～24歳	182 (17.5%)
25～29歳	153 (14.7%)
30～34歳	172 (16.5%)
35～39歳	185 (17.8%)
40～44歳	46 (4.4%)
45～49歳	55 (5.3%)
50～54歳	46 (4.4%)
55～59歳	70 (6.7%)
60～64歳	38 (3.6%)
65歳以上	34 (3.3%)
合計	1042 (100.0%)

【駅構内】

19歳以下	9 (2.9%)
20～24歳	27 (8.7%)
25～29歳	50 (16.0%)
30～34歳	41 (13.1%)
35～39歳	73 (23.4%)
40～44歳	22 (7.1%)
45～49歳	20 (6.4%)
50～54歳	22 (7.1%)
55～59歳	25 (8.0%)
60～64歳	15 (4.8%)
65歳以上	8 (2.6%)
合計	312 (100.0%)

回答者属性③

職業・学校

- 電車内：会社員・公務員（65.7%）、大学生・大学院生（11.4%）、パート・アルバイト（7.2%）の順が多い。
- 駅構内：会社員・公務員（67.5%）、パート・アルバイト（12.5%）、大学生・大学院生（6.1%）の順が多い。

あなたの現在の職業・学校をお答えください。

【電車内】

高校生	30 (2.9%)
専門学校生・短大生	11 (1.1%)
大学生・大学院生	119 (11.4%)
会社員・公務員	683 (65.7%)
パート・アルバイト	75 (7.2%)
自営業・自由業	51 (4.9%)
専業主婦・主夫	33 (3.2%)
無職	33 (3.2%)
その他	5 (0.5%)
合計	1040 (100.0%)

【駅構内】

高校生	6 (1.9%)
専門学校生・短大生	4 (1.3%)
大学生・大学院生	19 (6.1%)
会社員・公務員	210 (67.5%)
パート・アルバイト	39 (12.5%)
自営業・自由業	16 (5.1%)
専業主婦・主夫	10 (3.2%)
無職	4 (1.3%)
その他	3 (1.0%)
合計	311 (100.0%)

痴漢目撃・居合わせの経験①

痴漢を目撃した／居合わせた回数

- 電車内：ここ1年では、0回（60.9%）、1回（25.8%）、2回（8.5%）の順、それ以前では、1回（39.3%）、0回（22.0%）、2回（17.8%）、3～5回（16.2%）の順が多い。
- 駅構内：ここ1年では、0回（72.1%）、1回（17.9%）、2回（6.4%）の順、それ以前では、1回（40.4%）、0回（24.4%）、2回（20.5%）、3～5回（11.5%）の順が多い。

あなたがこれまで東京都内で痴漢を目撃した／居合わせた回数をお答えください。

【電車内】

【駅構内】

(ここ1年)

0回	635 (60.9%)
1回	269 (25.8%)
2回	89 (8.5%)
3回～5回	41 (3.9%)
6回～10回	7 (0.7%)
11回～20回	0 (0.0%)
21回以上	1 (0.1%)
合計	1042 (100.0%)

0回	225 (72.1%)
1回	56 (17.9%)
2回	20 (6.4%)
3回～5回	9 (2.9%)
6回～10回	2 (0.6%)
11回～20回	0 (0.0%)
21回以上	0 (0.0%)
合計	312 (100.0%)

(それ以前)

0回	229 (22.0%)
1回	410 (39.3%)
2回	185 (17.8%)
3回～5回	169 (16.2%)
6回～10回	29 (2.8%)
11回～20回	11 (1.1%)
21回以上	9 (0.9%)
合計	1042 (100.0%)

0回	76 (24.4%)
1回	126 (40.4%)
2回	64 (20.5%)
3回～5回	36 (11.5%)
6回～10回	9 (2.9%)
11回～20回	0 (0.0%)
21回以上	1 (0.3%)
合計	312 (100.0%)

痴漢目撃・居合わせの経験②

目撃した／居合わせた直近の時期

- 電車内：10年以上前（22.8%）、半年～1年以内（17.1%）、5年～10年以内（13.5%）の順が多い。
- 駅構内：10年以上前（23.4%）、3年～5年以内（19.6%）、5年～10年以内（19.2%）の順が多い。

あなたが痴漢被害を目撃した/居合わせた直近の時期をお答えください。

【電車内】

3か月以内	90 (8.6%)
3か月～半年以内	105 (10.1%)
半年～1年以内	178 (17.1%)
1年～3年以内	150 (14.4%)
3年～5年以内	140 (13.4%)
5年～10年以内	141 (13.5%)
10年以上前	238 (22.8%)
合計	1042 (100.0%)

【駅構内】

3か月以内	10 (3.2%)
3か月～半年以内	26 (8.3%)
半年～1年以内	34 (10.9%)
1年～3年以内	48 (15.4%)
3年～5年以内	61 (19.6%)
5年～10年以内	60 (19.2%)
10年以上前	73 (23.4%)
合計	312 (100.0%)

※以下、直近の痴漢目撃・居合わせ経験について回答いただいた結果を示す。

痴漢目撃・居合わせの状況④

目撃した／居合わせた電車の種別

- 電車内：普通（53.6%）、快速（19.2%）、急行（14.3%）の順が多い。

目撃した/居合わせたときに乗車していた電車の種別についてお答えください。

【電車内】

特急	76 (7.3%)
急行	149 (14.3%)
快速	200 (19.2%)
準急	34 (3.3%)
普通（各駅停車）	558 (53.6%)
その他	25 (2.4%)
合計	1042 (100.0%)

痴漢目撃・居合わせの状況⑤

目撃した／居合わせた時期

- 電車内：5月（15.1%）、4月（13.7%）、6月（13.6%）、7月（13.0%）の順が多い。
- 駅構内：5月（15.7%）、6月（14.4%）、7月（11.2%）の順が多い。

目撃した/居合わせたおおよその時期についてお答えください。

【電車内】

1月	25 (2.4%)
2月	34 (3.3%)
3月	73 (7.0%)
4月	143 (13.7%)
5月	157 (15.1%)
6月	142 (13.6%)
7月	135 (13.0%)
8月	106 (10.2%)
9月	59 (5.7%)
10月	87 (8.3%)
11月	34 (3.3%)
12月	47 (4.5%)
合計	1042 (100.0%)

【駅構内】

1月	13 (4.2%)
2月	7 (2.2%)
3月	29 (9.3%)
4月	32 (10.3%)
5月	49 (15.7%)
6月	45 (14.4%)
7月	35 (11.2%)
8月	31 (9.9%)
9月	19 (6.1%)
10月	32 (10.3%)
11月	7 (2.2%)
12月	13 (4.2%)
合計	312 (100.0%)

痴漢目撃・居合わせの状況⑥

目撃した／居合わせた時間帯

- 電車内：7：00～8：00（29.8％）、8：00～9：00（18.7％）の順で、朝のラッシュ時間帯が多い。
- 駅構内：7：00～8：00（22.1％）、8：00～9：00（21.8％）の順で、朝のラッシュ時間帯が多い。

目撃した／居合わせたおおよその時間帯についてお答えください。

【電車内】

始発－6：00	5（0.5%）
6：00－7：00	30（2.9%）
7：00－8：00	311（29.8%）
8：00－9：00	195（18.7%）
9：00－10：00	51（4.9%）
10：00－12：00	33（3.2%）
12：00－14：00	23（2.2%）
14：00－16：00	54（5.2%）
16：00－17：00	40（3.8%）
17：00－18：00	48（4.6%）
18：00－19：00	75（7.2%）
19：00－20：00	58（5.6%）
20：00－22：00	86（8.3%）
22：00－終電	33（3.2%）
合計	1042（100.0%）

【駅構内】

始発－6：00	3（1.0%）
6：00－7：00	7（2.2%）
7：00－8：00	69（22.1%）
8：00－9：00	68（21.8%）
9：00－10：00	11（3.5%）
10：00－12：00	16（5.1%）
12：00－14：00	17（5.4%）
14：00－16：00	23（7.4%）
16：00－17：00	14（4.5%）
17：00－18：00	18（5.8%）
18：00－19：00	19（6.1%）
19：00－20：00	19（6.1%）
20：00－22：00	18（5.8%）
22：00－終電	10（3.2%）
合計	312（100.0%）

痴漢目撃・居合わせの状況⑦

目撃した／居合わせた車両の位置／場所

- 電車内：真ん中あたりの車両（52.0%）、端の方の車両（35.6%）、一番端の車両（12.4%）の順が多い。
- 駅構内：ホーム（56.1%）、階段・エスカレーター（16.7%）の順が多い。

目撃した／居合わせたときに乗車していた車両の位置についてお答えください。【電車内】

一番端の車両	129 (12.4%)
端の方の車両（おおむね端から2 - 3両目）	371 (35.6%)
真ん中あたりの車両	542 (52.0%)
合計	1042 (100.0%)

目撃した／居合わせた場所についてお答えください。【駅構内】

改札付近	25 (8.0%)
券売所付近	14 (4.5%)
通路	29 (9.3%)
トイレ	9 (2.9%)
ホーム	175 (56.1%)
階段・エスカレーター	52 (16.7%)
エレベーター	7 (2.2%)
その他	1 (0.3%)
合計	312 (100.0%)

痴漢目撃・居合わせの状況⑧

目撃した／居合わせた電車の混雑率※／周りの混雑の程度

- 電車内：200%（29.5%）、180%（23.4%）、150%（15.4%）の順が多い。
- 駅構内：周りがある程度の人があった（38.8%）、ある程度混みあっていた（38.8%）が多い。

目撃した／居合わせたときの電車の混雑率についてお答えください。【電車内】

～100%：ほとんど人がいない	41（3.9%）
～100%：空席が見えるなど空いている	85（8.2%）
100%：定員乗車	108（10.4%）
150%：肩が触れる程度	160（15.4%）
180%：体が触れ合うが新聞は読める	244（23.4%）
200%：体が触れ合い相当な圧迫	307（29.5%）
250%：身動きできない	97（9.3%）
合計	1042（100.0%）

目撃した／居合わせたときの周りの混雑の程度についてお答えください。【駅構内】

周りにほとんど人はいなかった	19（6.1%）
周りがある程度の人があった（問題なく歩行などが可能）	121（38.8%）
ある程度混みあっていた（体が触れ合う程度）	121（38.8%）
とても混みあっていた（身動きができない程度）	51（16.3%）
合計	312（100.0%）

※混雑率の分類は、国等において作成しているものを参考に、本調査において作成したものである。

痴漢目撃・居合わせの状況⑨

目撃した／居合わせた車両内の位置

- 電車内：座席の前の通路（22.6％）、ドア付近（開閉が少ない側）（21.1％）、ドア付近（開閉が多い側）（19.9％）、ドアとドアの間のスペース（16.8％）の順が多い。
- 約6割の目撃・居合わせが、ドアとドアの間の空間（ドア付近（開閉が多い側＋開閉が少ない側）とドアとドアの間のスペースの和）において発生している。

目撃した/居合わせたときには車両内のどこにいたかお答えください。

【電車内】

ドア付近（開閉が多い側）	207（19.9%）
ドア付近（開閉が少ない側）	220（21.1%）
ドアとドアの間のスペース	175（16.8%）
座席の前の通路	235（22.6%）
車両と車両の境目付近	62（6.0%）
座席に座っていた	131（12.6%）
その他	12（1.2%）
合計	1042（100.0%）

痴漢目撃・居合わせの状況⑩

目撃した痴漢被害の内容

- 電車内：衣服ごしに体を触られた（50.0%）、体を密着された（33.2%）、衣服の下から体を触られた（直接触られた）（9.7%）の順が多い。

※被害者の回答と比して、「衣服ごしに体を触られた」等が少なく、「ボタンなどを外された」、「髪を触られた」等が多い（触覚情報が少なく、視覚情報が多い）。

- 駅構内：衣服ごしに体を触られた（19.4%）、体を密着された（17.5%）の順が多い。

目撃した痴漢被害の内容についてお答えください。

【電車内】

衣服ごしに体を触られた	392 (50.0%)
衣服の下から体を触られた（直接触られた）	76 (9.7%)
体を密着された	260 (33.2%)
ボタンなどを外された	36 (4.6%)
髪を触られた	57 (7.3%)
匂いがかがれた	74 (9.4%)
息を吹きかけられた	50 (6.4%)
カバンなどを押し付けられた	62 (7.9%)
A i r D r o pなどで画像を送られた・見せられた	16 (2.0%)
その他	21 (2.7%)
わからない	103 (13.1%)
回答件数	784

【駅構内】

衣服ごしに体を触られた	31 (19.4%)
衣服の下から体を触られた（直接触られた）	6 (3.8%)
体を密着された	28 (17.5%)
ボタンなどを外された	12 (7.5%)
髪を触られた	12 (7.5%)
匂いがかがれた	17 (10.6%)
息を吹きかけられた	6 (3.8%)
カバンなどを押し付けられた	9 (5.6%)
A i r D r o pなどで画像を送られた・見せられた	4 (2.5%)
その他	27 (16.9%)
わからない	39 (24.4%)
回答件数	160

痴漢目撃・居合わせの状況⑪

目撃した痴漢行為のエスカレート状況

- 電車内：わからない（33.7%）、変わらなかった（31.4%）の順が多い。
- 駅構内：わからない（41.9%）、変わらなかった（31.9%）の順が多い。

目撃した痴漢行為がエスカレートしていったかお答えください。

【電車内】

エスカレートした	112 (14.3%)
変わらなかった	246 (31.4%)
途中からおさまった	162 (20.7%)
わからない	264 (33.7%)
合計	784 (100.0%)

【駅構内】

エスカレートした	10 (6.3%)
変わらなかった	51 (31.9%)
途中からおさまった	32 (20.0%)
わからない	67 (41.9%)
合計	160 (100.0%)

痴漢目撃・居合わせの状況⑫

痴漢に気づいたきっかけ

- 電車内：あなたが、困っている様子の被害者に気がついた（40.4%）、被害者が、声を出して助けを求めた（27.1%）、周囲の人が、声を出して助けを求めた（13.6%）の順が多い。
- 駅構内：被害者が、声を出して助けを求めた（37.8%）、周囲の人が、声を出して助けを求めた（21.1%）の順が多い。

痴漢被害に気が付いたきっかけをお答えください。（複数回答）

【電車内】

あなたが、困っている様子の被害者に気がついた	421 (40.4%)
被害者が、声を出して助けを求めた	282 (27.1%)
被害者が、目配せや合図をした	135 (13.0%)
被害者が、アプリを使用して助けを求めた	50 (4.8%)
周囲の人が、声を出して助けを求めた	142 (13.6%)
周囲の人が、目配せや合図をした	73 (7.0%)
周囲の人が、アプリを使用して助けを求めた	26 (2.5%)
その他	97 (9.3%)
回答件数	1042

【駅構内】

あなたが、困っている様子の被害者に気がついた	36 (11.5%)
被害者が、声を出して助けを求めた	118 (37.8%)
被害者が、目配せや合図をした	21 (6.7%)
被害者が、アプリを使用して助けを求めた	27 (8.7%)
周囲の人が、声を出して助けを求めた	66 (21.2%)
周囲の人が、目配せや合図をした	19 (6.1%)
周囲の人が、アプリを使用して助けを求めた	7 (2.2%)
その他	56 (17.9%)
回答件数	312

痴漢目撃・居合わせの状況⑬

痴漢行為にどの程度確信を持てたか

- 電車内：確信が持てた（43.5%）、どちらとも言えない（36.7%）、確信は持てなかった（19.9%）となっている。
- 駅構内：確信が持てた（40.1%）、どちらとも言えない（36.9%）、確信は持てなかった（23.1%）となっている。

痴漢被害に気が付いたとき、それが痴漢であることにどの程度確信を持てたかお答えください。

【電車内】

確信が持てた	453 (43.5%)
どちらともいえない	382 (36.7%)
確信は持てなかった	207 (19.9%)
合計	1042 (100.0%)

【駅構内】

確信が持てた	125 (40.1%)
どちらともいえない	115 (36.9%)
確信は持てなかった	72 (23.1%)
合計	312 (100.0%)

第三者の対応①

目撃した／居合わせた痴漢に対してとった行動

- 電車内：これらのことはしなかった（49.1%）が最多。とられた行動では、周囲に目配せや合図をした（10.2%）、被害者に合図／声掛けをした（9.7%）、加害者と被害者を引き離した（8.4%）の順が多い。
- 駅構内：これらのことはしなかった（53.5%）が最多。とられた行動では、駅員を呼んだ（10.9%）、被害者に合図／声掛けをした（8.3%）の順が多い。

痴漢を目撃した／居合わせた際に、痴漢を止めたり、被害者を助けたりするために、あなたは次のようなことをしましたか。（複数回答）

【電車内】

加害者（痴漢）の腕をつかんだ・はらった	77 (7.4%)
加害者（痴漢）に話しかけるなどして加害者（痴漢）の注意をそらした	83 (8.0%)
加害者（痴漢）に痴漢だと伝えた	68 (6.5%)
被害者に合図／声掛けをした	101 (9.7%)
加害者（痴漢）と被害者を引き離した	87 (8.4%)
被害者と一緒に逃げた（降りた）	55 (5.3%)
周囲に対して声をだして助けを求めた	55 (5.3%)
周囲に目配せや合図をした	106 (10.2%)
アプリを利用して周りの人に被害を知らせた	19 (1.8%)
緊急停止ボタン・通報ボタンを押した	17 (1.6%)
駅員を呼んだ	63 (6.1%)
電車を降りた被害者に気遣う声をかけた	52 (5.0%)
駅員に被害を証言した	44 (4.2%)
その他	39 (3.8%)
これらのことはしなかった	510 (49.1%)
回答件数	1039

【駅構内】

加害者（痴漢）の腕をつかんだ・はらった	16 (5.1%)
加害者（痴漢）に話しかけるなどして加害者（痴漢）の注意をそらした	19 (6.1%)
加害者（痴漢）に痴漢だと伝えた	20 (6.4%)
被害者に合図／声掛けをした	26 (8.3%)
加害者（痴漢）と被害者を引き離した	23 (7.4%)
被害者と一緒に逃げた（降りた）	13 (4.2%)
周囲に対して声をだして助けを求めた	16 (5.1%)
周囲に目配せや合図をした	22 (7.1%)
アプリを利用して周りの人に被害を知らせた	7 (2.2%)
緊急停止ボタン・通報ボタンを押した	5 (1.6%)
駅員を呼んだ	34 (10.9%)
電車を降りた被害者に気遣う声をかけた	9 (2.9%)
駅員に被害を証言した	8 (2.6%)
その他	11 (3.5%)
これらのことはしなかった	167 (53.5%)
回答件数	312

第三者の対応②

とった行動により痴漢が止まったか

- 電車内：止まった（80.0%）、止まらなかった（20.0%）となっている。
- 駅構内：止まった（69.6%）、止まらなかった（30.1%）となっている。

何かしらの行動をしたときにその痴漢が止まったかお答えください。

【電車内】

止まった	420 (80.0%)
止まらなかった	105 (20.0%)
合計	525 (100.0%)

【駅構内】

止まった	100 (69.9%)
止まらなかった	43 (30.1%)
合計	143 (100.0%)

第三者の対応③

行動をした理由

- 電車内：被害者と目が合った／助けを求められているように感じたから（33.6％）、周囲の人と目が合った／助けを求められているように感じたから（20.0％）、あまりに目に余ったから（19.3％）の順が多い。
- 駅構内：周囲の人が助けていた／助けようとしていたから（22.1％）、周囲の人と目が合った／助けを求められているように感じたから（20.7％）、被害者から助けを求められたから（18.6％）、あまりに目に余ったから（17.2％）の順が多い。

何かしらの行動をした理由をお答えください。（複数回答）

【電車内】

被害者と目が合った／助けを求められているように感じたから	178 (33.6%)
被害者から助けを求められたから	96 (18.1%)
周囲の人と目が合った／助けを求められているように感じたから	106 (20.0%)
周囲の人から助けを求められたから	49 (9.3%)
周囲の人が助けていた／助けようとしていたから	94 (17.8%)
周囲の人が誰も助けようとしていなかったから	72 (13.6%)
加害者（痴漢）と目が合うなどしたから	37 (7.0%)
あまりに目に余ったから	102 (19.3%)
以前も同じ加害者（痴漢）を見かけたから	16 (3.0%)
その他	27 (5.1%)
回答件数	529

【駅構内】

被害者と目が合った／助けを求められているように感じたから	18 (12.4%)
被害者から助けを求められたから	27 (18.6%)
周囲の人と目が合った／助けを求められているように感じたから	30 (20.7%)
周囲の人から助けを求められたから	19 (13.1%)
周囲の人が助けていた／助けようとしていたから	32 (22.1%)
周囲の人が誰も助けようとしていなかったから	15 (10.3%)
加害者（痴漢）と目が合うなどしたから	3 (2.1%)
あまりに目に余ったから	25 (17.2%)
以前も同じ加害者（痴漢）を見かけたから	10 (6.9%)
その他	12 (8.3%)
回答件数	145

第三者の対応④

行動をしなかった理由

- 電車内：痴漢だと確証を持てなかったから（26.1%）、混んでいて動けなかったから（18.3%）、距離が遠かったから（18.1%）の順が多い。
- 駅構内：他の人が実際に助けた／動いたから（27.5%）、距離が遠かったから（22.2%）、痴漢だと確信が持てなかったから（18.6%）の順が多い。

痴漢を目撃した/居合わせた際に何かしらの行動をしなかった/できなかった理由をお答えください。（複数回答）

【電車内】

加害者（痴漢）が怖かったから	75 (14.6%)
混んでいて動けなかったから	94 (18.3%)
距離が遠かったから	93 (18.1%)
痴漢だと確証が持てなかったから	134 (26.1%)
一人で行動することに気おくれを感じたから	72 (14.0%)
時間がないと思った（遅刻など）	39 (7.6%)
誰か他の人が助けるだろうと思ったから	26 (5.1%)
他の人が実際に助けた／動いたから	77 (15.0%)
関わりたくなかったから	84 (16.4%)
私の問題ではないと思ったから	34 (6.6%)
その他	40 (7.8%)
回答件数	513

【駅構内】

加害者（痴漢）が怖かったから	16 (9.6%)
混んでいて動けなかったから	15 (9.0%)
距離が遠かったから	37 (22.2%)
痴漢だと確証が持てなかったから	31 (18.6%)
一人で行動することに気おくれを感じたから	12 (7.2%)
時間がないと思った（遅刻など）	21 (12.6%)
誰か他の人が助けるだろうと思ったから	4 (2.4%)
他の人が実際に助けた／動いたから	46 (27.5%)
関わりたくなかったから	24 (14.4%)
私の問題ではないと思ったから	15 (9.0%)
その他	29 (17.4%)
回答件数	167

第三者の対応⑤

周囲の人の反応

- 電車内：これらのことはしなかった（45.8%）が最多。取られた対応では、駅員を呼んだ（12.5%）、加害者に痴漢だと伝えた（12.1%）、加害者の腕をつかんだ・はらった（11.9%）の順が多い。
- 駅構内：これらのことはしなかった（34.4%）が最多。取られた対応では、駅員を呼んだ（26.4%）、周囲に対して声を出して助けを求めた（11.6%）、加害者の腕をつかんだ・はらった（10.0%）の順が多い。

目撃した/居合わせたときに周囲にいた人が次のようなことをしましたか。（複数回答）

【電車内】

加害者（痴漢）の腕をつかんだ・はらった	122 (11.9%)
加害者（痴漢）に話しかけるなどして加害者（痴漢）の注意をそらした	68 (6.7%)
加害者（痴漢）に痴漢だと伝えた	124 (12.1%)
被害者に合図／声掛けをした	109 (10.7%)
加害者（痴漢）と被害者を引き離れた	97 (9.5%)
被害者と一緒に逃げた（降りた）	65 (6.4%)
周囲に対して声をだして助けを求めた	84 (8.2%)
周囲に目配せや合図をした	89 (8.7%)
アプリを利用して周りの人に被害を知らせた	25 (2.4%)
緊急停止ボタン・通報ボタンを押した	20 (2.0%)
駅員を呼んだ	128 (12.5%)
電車を降りた被害者に気遣う声をかけた	54 (5.3%)
駅員に被害を証言した	53 (5.2%)
その他	16 (1.6%)
これらのことはしなかった	468 (45.8%)
回答件数	1021

【駅構内】

加害者（痴漢）の腕をつかんだ・はらった	31 (10.0%)
加害者（痴漢）に話しかけるなどして加害者（痴漢）の注意をそらした	9 (2.9%)
加害者（痴漢）に痴漢だと伝えた	29 (9.3%)
被害者に合図／声掛けをした	19 (6.1%)
加害者（痴漢）と被害者を引き離れた	27 (8.7%)
被害者と一緒に逃げた（降りた）	14 (4.5%)
周囲に対して声をだして助けを求めた	36 (11.6%)
周囲に目配せや合図をした	23 (7.4%)
アプリを利用して周りの人に被害を知らせた	8 (2.6%)
緊急停止ボタン・通報ボタンを押した	12 (3.9%)
駅員を呼んだ	82 (26.4%)
電車を降りた被害者に気遣う声をかけた	13 (4.2%)
駅員に被害を証言した	21 (6.8%)
その他	14 (4.5%)
これらのことはしなかった	107 (34.4%)
回答件数	311

第三者の対応⑥

周囲の人の行動により痴漢が止まったか

- 電車内：止まった（87.1%）、止まらなかった（12.9%）となっている。
- 駅構内：止まった（79.4%）、止まらなかった（20.6%）となっている。

周囲にいた人が行動したことによって、痴漢が止まったかお答えください。

【電車内】

止まった	478 (87.1%)
止まらなかった	71 (12.9%)
合計	549 (100.0%)

【駅構内】

止まった	162 (79.4%)
止まらなかった	42 (20.6%)
合計	204 (100.0%)

届け出・連絡状況①

届け出・連絡状況

- 電車内：何もしていない（71.4%）が最多。届け出・連絡した場合は、駅職員に届け出た（19.4%）、警察に届け出た（8.9%）の順が多い。
- 駅構内：何もしていない（70.5%）が最多。届け出・連絡した場合は、警察に届け出た（12.8%）、駅職員に届け出た（11.9%）の順が多い。

目撃した/居合わせた後にあなたが公的機関などに届け出・連絡をしたかお答えください。（複数回答）

【電車内】

駅職員に届け出た	202 (19.4%)
警察に届け出た	93 (8.9%)
相談機関に連絡した	43 (4.1%)
その他	13 (1.2%)
何もしていない	744 (71.4%)
回答件数	1042

【駅構内】

駅職員に届け出た	37 (11.9%)
警察に届け出た	40 (12.8%)
相談機関に連絡した	25 (8.0%)
その他	4 (1.3%)
何もしていない	220 (70.5%)
回答件数	312

届け出・連絡状況②

届け出・連絡時に被害者と一緒にいたか

- 電車内：一緒にいた（「はい」との回答）が55.0%、一緒にいなかった（「いいえ」との回答）が45.0%となっている。
- 駅構内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、一緒にいたが44.6%、一緒にいなかったが55.4%となっている。

届け出・連絡したときに、あなたは被害者と一緒にいたかお答えください。

【電車内】

はい	164 (55.0%)
いいえ	134 (45.0%)
合計	298 (100.0%)

【駅構内】

はい	41 (44.6%)
いいえ	51 (55.4%)
合計	92 (100.0%)

届け出・連絡状況③

連絡した機関名

- 電車内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、東京ウィメンズプラザ（36.1%）、東京都女性相談センター（30.6%）が多い。
- 駅構内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、東京都女性相談センター（25.0%）、警視庁総合相談センター（25.0%）が多い。

連絡した機関名についてお答えください。（複数回答）

【電車内】

性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター	6 (16.7%)
東京都若者総合相談センター（若ナビα）	9 (25.0%)
東京ウィメンズプラザ	13 (36.1%)
東京都女性相談センター	11 (30.6%)
警視庁総合相談センター	10 (27.8%)
性犯罪被害相談電話（ハートさん）	1 (2.8%)
弁護士	1 (2.8%)
その他	1 (2.8%)
回答件数	36

【駅構内】

性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター	4 (16.7%)
東京都若者総合相談センター（若ナビα）	3 (12.5%)
東京ウィメンズプラザ	3 (12.5%)
東京都女性相談センター	6 (25.0%)
警視庁総合相談センター	6 (25.0%)
性犯罪被害相談電話（ハートさん）	3 (12.5%)
弁護士	4 (16.7%)
その他	0 (0.0%)
回答件数	24

届け出・連絡状況④

その機関に連絡した理由

- 電車内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、その場で調べた（34.9%）、被害後に調べた（34.9%）が多い。
- 駅構内：回答件数が少ないことに留意が必要だが、以前に利用したことがあった（36.0%）が多い。

なぜその機関に連絡したのかお答えください。（複数回答）

【電車内】

知っていた	4 (9.3%)
周囲にポスターなどがあった	9 (20.9%)
その場で調べた	15 (34.9%)
被害後に調べた	15 (34.9%)
以前に利用したことがあった	9 (20.9%)
周囲の人が連絡をした	1 (2.3%)
その他	0 (0.0%)
回答件数	43

【駅構内】

知っていた	2 (8.0%)
周囲にポスターなどがあった	3 (12.0%)
その場で調べた	5 (20.0%)
被害後に調べた	6 (24.0%)
以前に利用したことがあった	9 (36.0%)
周囲の人が連絡をした	4 (16.0%)
その他	0 (0.0%)
回答件数	25

届け出・連絡状況⑤

目撃した／居合わせた直後、どうしたかったか

- 電車内：特に何もしたくなかった（51.2%）が最多。したかったこととしては、気軽に届け出る・連絡する方法があれば何かしたかった（22.8%）、駅職員に届けたかった（20.8%）、警察に届け出たかった（12.6%）の順が多い。
- 駅構内：特に何もしたくなかった（55.5%）が最多。したかったこととしては、気軽に届け出る・連絡する方法があれば何かしたかった（19.1%）、駅職員に届けたかった（16.8%）、警察に届け出たかった（10.5%）の順が多い。

目撃した/居合わせた直後、本当はどのようにしたかったかお答えください。（複数回答）

【電車内】

駅職員に届け出たかった	155 (20.8%)
警察に届け出たかった	94 (12.6%)
相談機関に連絡したかった	27 (3.6%)
匿名で行政の相談窓口連絡・相談したかった	29 (3.9%)
気軽に届け出る・連絡する方法があれば何かしたかった	170 (22.8%)
その他	21 (2.8%)
特に何もしたくなかった	381 (51.2%)
回答件数	744

【駅構内】

駅職員に届け出たかった	37 (16.8%)
警察に届け出たかった	23 (10.5%)
相談機関に連絡したかった	4 (1.8%)
匿名で行政の相談窓口連絡・相談したかった	7 (3.2%)
気軽に届け出る・連絡する方法があれば何かしたかった	42 (19.1%)
その他	12 (5.5%)
特に何もしたくなかった	122 (55.5%)
回答件数	220

届け出・連絡状況⑥

連絡をしなかった理由

- 電車内：時間がなかった（34.4%）、痴漢か確信が持てなかった／勘違いだったら恥ずかしい（23.3%）、どのような相談機関があるかわからなかった（17.9%）の順が多い。
- 駅構内：時間がなかった（37.3%）、痴漢か確信が持てなかった／勘違いだったら恥ずかしい（18.2%）の順が多い。

目撃した/居合わせた直後に公的機関などに連絡をしなかった理由をお答えください。（複数回答）

【電車内】

めんどうだった	114 (15.3%)
時間がなかった（遅刻など）	256 (34.4%)
被害者自身が届出を望んでいなかった	59 (7.9%)
犯人が捕まらないと思った	66 (8.9%)
逆恨みが怖かった	89 (12.0%)
痴漢か確信が持てなかった／勘違いだったら恥ずかしい	173 (23.3%)
どのような相談機関があるのか不明だった	133 (17.9%)
相談機関の連絡先がわからなかった	110 (14.8%)
その他	67 (9.0%)
回答件数	744

【駅構内】

めんどうだった	22 (10.0%)
時間がなかった（遅刻など）	82 (37.3%)
被害者自身が届出を望んでいなかった	7 (3.2%)
犯人が捕まらないと思った	15 (6.8%)
逆恨みが怖かった	17 (7.7%)
痴漢か確信が持てなかった／勘違いだったら恥ずかしい	40 (18.2%)
どのような相談機関があるのか不明だった	29 (13.2%)
相談機関の連絡先がわからなかった	29 (13.2%)
その他	51 (23.2%)
回答件数	220

届け出・連絡状況⑦

痴漢被害の帰結

- 電車内：覚えていない（20.5%）、周囲の人が痴漢行為をやめさせた（17.9%）、加害者がどこかにいった（17.3%）、自分の目的地に着いた（降りた）（11.3%）の順が多い。
- 駅構内：覚えていない（28.8%）、加害者がどこかにいった（14.2%）、周囲の人が痴漢行為をやめさせた（13.6%）、目を離した・見えなくなった（12.6%）の順が多い。

あなたが目撃した/居合わせた痴漢被害は最後どのような結果になりましたか。

【電車内】

あなたが痴漢行為をやめさせた	62 (6.1%)
周囲の人が痴漢行為をやめさせた	181 (17.9%)
自分の目的地に着いた（降りた）	115 (11.3%)
人の乗り降りで距離が離れた	114 (11.2%)
加害者（痴漢）がどこかにいった（降りた）	175 (17.3%)
混雑が解消した	24 (2.4%)
目を離した・見えなくなった	93 (9.2%)
その他	42 (4.1%)
覚えていない	208 (20.5%)
合計	1014 (100.0%)

【駅構内】

あなたが痴漢行為をやめさせた	9 (2.9%)
周囲の人が痴漢行為をやめさせた	42 (13.6%)
自分の目的地に着いた（降りた）	21 (6.8%)
人の乗り降りで距離が離れた	22 (7.1%)
加害者（痴漢）がどこかにいった（降りた）	44 (14.2%)
混雑が解消した	9 (2.9%)
目を離した・見えなくなった	39 (12.6%)
その他	34 (11.0%)
覚えていない	89 (28.8%)
合計	309 (100.0%)

V 共通設問

【回答者要件】

- 被害者調査および第三者調査の対象者

本節におけるクロス集計について

- 本節「Ⅴ 共通設問」では、痴漢被害をなくすために公的機関等が行っている活動等に対する認知度等を調査項目としている。
- そのため、どのような方に施策が認知されている／されていないかを明らかにするため、①本調査における回答者区分（被害者／第三者／被害者兼第三者）を主軸に、クロス集計を実施する。
- 併せて、②性・性自認別（男性／女性／ノンバイナリー・Xジェンダー）、③年代別（10代／20代／30代／40代／50代／60代）によるクロス集計も掲載する。
- なお、①の回答者区分と、②性別・性自認、③年代の関係性は下表のとおり。40歳以上はすべて第三者区分であることに改めて留意されたい。

【回答者区分と性・性自認の関係】

	全体	男性	女性	ノンバイナリー ／Xジェンダー
全体	2912 (100.0%)	602 (20.7%)	2282 (78.4%)	28 (1.0%)
被害者	1558 (100.0%)	94 (6.0%)	1448 (92.9%)	16 (1.0%)
第三者	693 (100.0%)	406 (58.6%)	282 (40.7%)	5 (0.7%)
被害者兼第三者	661 (100.0%)	102 (15.4%)	552 (83.5%)	7 (1.1%)

【回答者区分と年代の関係】

	全体	10代	20代	30代	40代	50代	60代
全体	2911 (100.0%)	258 (8.9%)	1127 (38.7%)	1126 (38.7%)	142 (4.9%)	163 (5.6%)	95 (3.3%)
被害者	1558 (100.0%)	188 (12.1%)	715 (45.9%)	655 (42.0%)	調査対象外		
第三者	692 (100.0%)	14 (2.0%)	92 (13.3%)	186 (26.9%)	142 (20.5%)	163 (23.6%)	95 (13.7%)
被害者兼第三者	661 (100.0%)	56 (8.5%)	320 (48.4%)	285 (43.1%)	調査対象外		

Digi Policeアプリ①

DigiPoliceの認知度

- 回答者全体：認知率（「はい」との回答）は14.0%となっている。
- 被害者／第三者別：認知率は、被害者で9.0%、第三者で14.3%、被害者兼第三者で25.4%となっている。
- 性・性自認別：男女の認知率に大きな差はみられない。 ※ノンバイナリー・Xジェンダーは回答数が少ないためコメントを控える。以下同様。
- 年代別：認知率に大きな傾向はみられない。

警視庁が東京都内の犯罪発生情報や防犯情報を発信している防犯アプリ「DigiPolice」を知っているかお答えください。

【回答者全体、被害者／第三者別】

	全体	はい	いいえ
全体	2912 (100.0%)	407 (14.0%)	2505 (86.0%)
被害者	1558 (100.0%)	140 (9.0%)	1418 (91.0%)
第三者	693 (100.0%)	99 (14.3%)	594 (85.7%)
被害者 兼 第三者	661 (100.0%)	168 (25.4%)	493 (74.6%)

Digi Policeアプリ① (つづき)

【性・性自認別】

	全体	はい	いいえ
全体	2912 (100.0%)	407 (14.0%)	2505 (86.0%)
男性	602 (100.0%)	89 (14.8%)	513 (85.2%)
女性	2282 (100.0%)	311 (13.6%)	1971 (86.4%)
ノンバイナリー／Xジェンダー	28 (100.0%)	7 (25.0%)	21 (75.0%)

【年代別】

	全体	はい	いいえ
全体	2911 (100.0%)	407 (14.0%)	2504 (86.0%)
10代	258 (100.0%)	41 (15.9%)	217 (84.1%)
20代	1127 (100.0%)	194 (17.2%)	933 (82.8%)
30代	1126 (100.0%)	121 (10.7%)	1005 (89.3%)
40代	142 (100.0%)	24 (16.9%)	118 (83.1%)
50代	163 (100.0%)	16 (9.8%)	147 (90.2%)
60代	95 (100.0%)	11 (11.6%)	84 (88.4%)

Digi Policeアプリ②

DigiPoliceの認知ルート

- 回答者全体：SNS（48.6%）、チラシ・ポスター（32.2%）、ホームページ（26.0%）の順が多い。
- 被害者／第三者別：回答者全体比で、被害者ではSNSが多くホームページやチラシ・ポスターが少ない、第三者および被害者兼第三者ではホームページやチラシ・ポスターが多い等の状況みられる。
- 性・性自認別：回答者全体比で、女性では友人・知人、男性ではホームページ、チラシ・ポスターの比率が高い。
- 年代別：回答者全体比で、10代ではSNSや友人・知人、40～60代ではホームページやチラシ・ポスターの比率が高い。

「DigiPolice」をどこで知ったかお答えください。（複数回答）

【回答者全体、被害者／第三者別】

	全体	SNS	ホームページ	チラシ・ポスター	友人・知人	デジタルサイネージ
全体	407	198 (48.6%)	106 (26.0%)	131 (32.2%)	81 (19.9%)	50 (12.3%)
被害者	140	75 (53.6%)	14 (10.0%)	32 (22.9%)	25 (17.9%)	16 (11.4%)
第三者	99	47 (47.5%)	32 (32.3%)	40 (40.4%)	16 (16.2%)	12 (12.1%)
被害者兼 第三者	168	76 (45.2%)	60 (35.7%)	59 (35.1%)	40 (23.8%)	22 (13.1%)

Digi Policeアプリ② (つづき)

【性・性自認別】

	全体	SNS	ホームページ	チラシ・ポスター	友人・知人	デジタルサイネージ
全体	407	198 (48.6%)	106 (26.0%)	131 (32.2%)	81 (19.9%)	50 (12.3%)
男性	89	44 (49.4%)	32 (36.0%)	35 (39.3%)	10 (11.2%)	9 (10.1%)
女性	311	150 (48.2%)	73 (23.5%)	93 (29.9%)	70 (22.5%)	40 (12.9%)
ノンバイナリー／Xジェンダー	7	4 (57.1%)	1 (14.3%)	3 (42.9%)	1 (14.3%)	1 (14.3%)

【年代別】

	全体	SNS	ホームページ	チラシ・ポスター	友人・知人	デジタルサイネージ
全体	407	198 (48.6%)	106 (26.0%)	131 (32.2%)	81 (19.9%)	50 (12.3%)
10代	41	25 (61.0%)	5 (12.2%)	9 (22.0%)	12 (29.3%)	0 (0.0%)
20代	194	96 (49.5%)	50 (25.8%)	52 (26.8%)	40 (20.6%)	26 (13.4%)
30代	121	55 (45.5%)	31 (25.6%)	49 (40.5%)	21 (17.4%)	17 (14.0%)
40代	24	13 (54.2%)	10 (41.7%)	7 (29.2%)	5 (20.8%)	5 (20.8%)
50代	16	5 (31.3%)	5 (31.3%)	6 (37.5%)	2 (12.5%)	1 (6.3%)
60代	11	4 (36.4%)	5 (45.5%)	8 (72.7%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)

Digi Policeアプリ③

DigiPoliceのダウンロード状況

- 回答者全体：ダウンロード率は37.8%となっている。
- 被害者／第三者別：ダウンロード率は、被害者で23.6%、第三者で39.4%、被害者兼第三者で48.8%となっている。
- 性・性自認別：ダウンロード率は女性で高い。
- 年代別：ダウンロード率は、20～40代で高い。

「DigiPolice」をダウンロードしているかお答えください。

【回答者全体、被害者／第三者別】

	全体	はい	いいえ
全体	407 (100.0%)	154 (37.8%)	253 (62.2%)
被害者	140 (100.0%)	33 (23.6%)	107 (76.4%)
第三者	99 (100.0%)	39 (39.4%)	60 (60.6%)
被害者 兼 第三者	168 (100.0%)	82 (48.8%)	86 (51.2%)

Digi Policeアプリ③ (つづき)

【性・性自認別】

	全体	はい	いいえ
全体	407 (100.0%)	154 (37.8%)	253 (62.2%)
男性	89 (100.0%)	25 (28.1%)	64 (71.9%)
女性	311 (100.0%)	126 (40.5%)	185 (59.5%)
ノンバイナリー／Xジェンダー	7 (100.0%)	3 (42.9%)	4 (57.1%)

【年代別】

	全体	はい	いいえ
全体	407 (100.0%)	154 (37.8%)	253 (62.2%)
10代	41 (100.0%)	7 (17.1%)	34 (82.9%)
20代	194 (100.0%)	77 (39.7%)	117 (60.3%)
30代	121 (100.0%)	49 (40.5%)	72 (59.5%)
40代	24 (100.0%)	12 (50.0%)	12 (50.0%)
50代	16 (100.0%)	6 (37.5%)	10 (62.5%)
60代	11 (100.0%)	3 (27.3%)	8 (72.7%)

Digi Policeアプリ④

DigiPoliceをダウンロードしていない理由

- 回答者全体：自分は被害にあわない（68.8%）、他人を助けることはしない（25.3%）、痴漢は重大な問題ではない（13.8%）となっている。
- 被害者／第三者別：第三者で、自分は被害にあわない（88.3%）が多くなっている。
- 性・性自認別：男性で、自分が被害にあわないが多い。
- 年代別：自分が被害にあわないとの回答は40～50代が多い。痴漢が重大ではないとの回答は10～20代が多い。

「DigiPolice」をダウンロードしていない理由をお答えください。（複数回答）

【回答者全体、被害者／第三者別】

	全体	自分は被害 にあわない	他人を助ける ことはしない	痴漢は重大 な問題ではな い
全体	253	174 (68.8%)	64 (25.3%)	35 (13.8%)
被害者	107	74 (69.2%)	28 (26.2%)	16 (15.0%)
第三者	60	53 (88.3%)	7 (11.7%)	2 (3.3%)
被害者 兼 第三者	86	47 (54.7%)	29 (33.7%)	17 (19.8%)

Digi Policeアプリ④ (つづき)

【性・性自認別】

	全体	自分は被害にあわない	他人を助けることはしない	痴漢は重大な問題ではない
全体	253	174 (68.8%)	64 (25.3%)	35 (13.8%)
男性	64	53 (82.8%)	10 (15.6%)	5 (7.8%)
女性	185	118 (63.8%)	54 (29.2%)	29 (15.7%)
ノンバイナリー／Xジェンダー	4	3 (75.0%)	0 (0.0%)	1 (25.0%)

【年代別】

	全体	自分は被害にあわない	他人を助けることはしない	痴漢は重大な問題ではない
全体	253	174 (68.8%)	64 (25.3%)	35 (13.8%)
10代	34	25 (73.5%)	10 (29.4%)	8 (23.5%)
20代	117	70 (59.8%)	29 (24.8%)	21 (17.9%)
30代	72	52 (72.2%)	22 (30.6%)	5 (6.9%)
40代	12	10 (83.3%)	2 (16.7%)	1 (8.3%)
50代	10	10 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
60代	8	7 (87.5%)	1 (12.5%)	0 (0.0%)

痴漢撲滅キャンペーン①

痴漢撲滅キャンペーンの認知度

- 回答者全体：認知率（「はい」との回答）は40.8%となっている。
- 被害者／第三者別：認知率は、被害者で33.2%、第三者で50.4%、被害者兼第三者で48.7%となっている。
- 性・性自認別：認知率は男性で高い。
- 年代別：大きな差はみられない。

警察等が実施している「痴漢撲滅キャンペーン」を知っているかお答えください。

【回答者全体、被害者／第三者別】

	全体	はい	いいえ
全体	2912 (100.0%)	1188 (40.8%)	1724 (59.2%)
被害者	1558 (100.0%)	517 (33.2%)	1041 (66.8%)
第三者	693 (100.0%)	349 (50.4%)	344 (49.6%)
被害者 兼 第三者	661 (100.0%)	322 (48.7%)	339 (51.3%)

痴漢撲滅キャンペーン①（つづき）

【性・性自認別】

	全体	はい	いいえ
全体	2912 (100.0%)	1188 (40.8%)	1724 (59.2%)
男性	602 (100.0%)	328 (54.5%)	274 (45.5%)
女性	2282 (100.0%)	849 (37.2%)	1433 (62.8%)
ノンバイナリー／Xジェンダー	28 (100.0%)	11 (39.3%)	17 (60.7%)

【年代別】

	全体	はい	いいえ
全体	2911 (100.0%)	1187 (40.8%)	1724 (59.2%)
10代	258 (100.0%)	106 (41.1%)	152 (58.9%)
20代	1127 (100.0%)	447 (39.7%)	680 (60.3%)
30代	1126 (100.0%)	442 (39.3%)	684 (60.7%)
40代	142 (100.0%)	60 (42.3%)	82 (57.7%)
50代	163 (100.0%)	74 (45.4%)	89 (54.6%)
60代	95 (100.0%)	58 (61.1%)	37 (38.9%)

痴漢撲滅キャンペーン②

痴漢撲滅キャンペーンの認知ルート

- 回答者全体：駅構内／電車内のポスターなど（83.8%）が突出。次いで、TV（12.5%）、SNS（9.5%）、Webニュース（8.9%）が多くなっている。
- 被害者／第三者別：被害者兼第三者では、駅構内／電車内のポスターの比率が比較的低い一方で、他の媒体の回答比率が比較的高く、多様な媒体から情報を入手していることがうかがえる。
- 性・性自認別：大きな差はみられない。
- 年代別：回答者全体比で、10代では学校やSNS、40～60代ではTVやWebニュース等が多い。

どこで、「痴漢撲滅キャンペーン」を知ったかお答えください。（複数回答）

【回答者全体、被害者／第三者別】

	全体	駅構内／電車内のポスターなど	学校	ホームページ	TV	Webニュース	SNS	友人・知人	キャンペーンを見たことがある
全体	1188	995 (83.8%)	78 (6.6%)	103 (8.7%)	149 (12.5%)	106 (8.9%)	113 (9.5%)	30 (2.5%)	72 (6.1%)
被害者	517	441 (85.3%)	22 (4.3%)	14 (2.7%)	50 (9.7%)	18 (3.5%)	33 (6.4%)	9 (1.7%)	28 (5.4%)
第三者	349	307 (88.0%)	14 (4.0%)	30 (8.6%)	53 (15.2%)	52 (14.9%)	37 (10.6%)	9 (2.6%)	23 (6.6%)
被害者兼第三者	322	247 (76.7%)	42 (13.0%)	59 (18.3%)	46 (14.3%)	36 (11.2%)	43 (13.4%)	12 (3.7%)	21 (6.5%)

痴漢撲滅キャンペーン② (つづき)

【性・性自認別】

	全体	駅構内／電車内のポスターなど	学校	ホームページ	TV	Webニュース	SNS	友人・知人	キャンペーンを見たことがある
全体	1188	995 (83.8%)	78 (6.6%)	103 (8.7%)	149 (12.5%)	106 (8.9%)	113 (9.5%)	30 (2.5%)	72 (6.1%)
男性	328	276 (84.1%)	15 (4.6%)	31 (9.5%)	53 (16.2%)	43 (13.1%)	31 (9.5%)	8 (2.4%)	22 (6.7%)
女性	849	709 (83.5%)	61 (7.2%)	71 (8.4%)	95 (11.2%)	62 (7.3%)	81 (9.5%)	21 (2.5%)	49 (5.8%)
ノンバイナリー／Xジェンダー	11	10 (90.9%)	2 (18.2%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)	1 (9.1%)

【年代別】

	全体	駅構内／電車内のポスターなど	学校	ホームページ	TV	Webニュース	SNS	友人・知人	キャンペーンを見たことがある
全体	1187	994 (83.7%)	78 (6.6%)	103 (8.7%)	149 (12.6%)	106 (8.9%)	113 (9.5%)	30 (2.5%)	72 (6.1%)
10代	106	92 (86.8%)	25 (23.6%)	9 (8.5%)	13 (12.3%)	8 (7.5%)	16 (15.1%)	1 (0.9%)	3 (2.8%)
20代	447	353 (79.0%)	35 (7.8%)	48 (10.7%)	50 (11.2%)	32 (7.2%)	50 (11.2%)	16 (3.6%)	24 (5.4%)
30代	442	375 (84.8%)	12 (2.7%)	29 (6.6%)	52 (11.8%)	32 (7.2%)	32 (7.2%)	8 (1.8%)	31 (7.0%)
40代	60	56 (93.3%)	5 (8.3%)	9 (15.0%)	12 (20.0%)	14 (23.3%)	7 (11.7%)	5 (8.3%)	3 (5.0%)
50代	74	66 (89.2%)	1 (1.4%)	6 (8.1%)	10 (13.5%)	12 (16.2%)	3 (4.1%)	0 (0.0%)	2 (2.7%)
60代	58	52 (89.7%)	0 (0.0%)	2 (3.4%)	12 (20.7%)	8 (13.8%)	5 (8.6%)	0 (0.0%)	9 (15.5%)

痴漢撲滅キャンペーン③

効果的と思われること

- 回答者全体：電車内・駅構内でのアナウンス（63.3%）、電車内・駅構内でのポスターの掲示（52.1%）、SNSでの発信（33.9%）の順で多くなっている。
- 被害者／第三者別：大きな差異ではないが、被害者ではSNSでの発信、第三者では電車内・駅構内でのアナウンスやポスターの掲示が比較的多くなっている。
- 性・性自認別：大きな差はみられない。
- 年代別：回答者全体比で、10代では著名人やキャラクターを使ったイベントやSNSでの発信、40～60代では電車内・駅構内でのアナウンス等が多い。

痴漢撲滅のためのキャンペーンを実施する際に効果的だと思われることをお答えください。（複数回答）

【回答者全体、被害者／第三者別】

	全体	著名人やキャラクターを使ったイベント	電車内・駅構内でのアナウンス	電車内・駅構内でのポスターの掲示	ホームページでの発信	SNSでの発信	リーフレットや啓発品の配布
全体	2912	657 (22.6%)	1843 (63.3%)	1516 (52.1%)	345 (11.8%)	987 (33.9%)	381 (13.1%)
被害者	1558	346 (22.2%)	1009 (64.8%)	802 (51.5%)	150 (9.6%)	591 (37.9%)	202 (13.0%)
第三者	693	149 (21.5%)	480 (69.3%)	386 (55.7%)	87 (12.6%)	192 (27.7%)	85 (12.3%)
被害者 兼 第三者	661	162 (24.5%)	354 (53.6%)	328 (49.6%)	108 (16.3%)	204 (30.9%)	94 (14.2%)

痴漢撲滅キャンペーン③ (つづき)

【性・性自認別】

	全体	著名人やキャラクターを使ったイベント	電車内・駅構内でのアナウンス	電車内・駅構内でのポスターの掲示	ホームページでの発信	SNSでの発信	リーフレットや啓発品の配布
全体	2912	657 (22.6%)	1843 (63.3%)	1516 (52.1%)	345 (11.8%)	987 (33.9%)	381 (13.1%)
男性	602	143 (23.8%)	403 (66.9%)	335 (55.6%)	80 (13.3%)	174 (28.9%)	80 (13.3%)
女性	2282	509 (22.3%)	1420 (62.2%)	1169 (51.2%)	259 (11.3%)	802 (35.1%)	298 (13.1%)
ノンバイナリー／Xジェンダー	28	5 (17.9%)	20 (71.4%)	12 (42.9%)	6 (21.4%)	11 (39.3%)	3 (10.7%)

【年代別】

	全体	著名人やキャラクターを使ったイベント	電車内・駅構内でのアナウンス	電車内・駅構内でのポスターの掲示	ホームページでの発信	SNSでの発信	リーフレットや啓発品の配布
全体	2911	656 (22.5%)	1842 (63.3%)	1515 (52.0%)	345 (11.9%)	987 (33.9%)	381 (13.1%)
10代	258	74 (28.7%)	165 (64.0%)	130 (50.4%)	26 (10.1%)	106 (41.1%)	32 (12.4%)
20代	1127	250 (22.2%)	675 (59.9%)	552 (49.0%)	124 (11.0%)	402 (35.7%)	127 (11.3%)
30代	1126	257 (22.8%)	697 (61.9%)	605 (53.7%)	137 (12.2%)	378 (33.6%)	173 (15.4%)
40代	142	32 (22.5%)	102 (71.8%)	77 (54.2%)	29 (20.4%)	42 (29.6%)	21 (14.8%)
50代	163	30 (18.4%)	127 (77.9%)	96 (58.9%)	21 (12.9%)	39 (23.9%)	21 (12.9%)
60代	95	13 (13.7%)	76 (80.0%)	55 (57.9%)	8 (8.4%)	20 (21.1%)	7 (7.4%)

相談機関①

相談機関の認知度

- 認知率（100%から「知らない」との回答を減じた値）は、機関によりばらつきはあるが、15～26%程度となっている。
- 認知ルートは、全機関において、電車内・駅構内のポスターなどが最も多くなっている。

痴漢被害についての相談機関について知っている機関(その機関をどこで知ったか)をお答えください。(複数回答)

【回答者全体】

	回答数	知らない	電車内・駅構内のポスターなど	デジタルサイネージ(情報・広告を表示するディスプレイ)	Webニュース	TV・ラジオ・新聞	SNS	ホームページ(ニュース以外)	学校	友人・知人・家族から聞いた	その他
性犯罪・性暴力被害者ワンストップ支援センター	2908	2283 (78.5%)	385 (13.2%)	114 (3.9%)	117 (4.0%)	51 (1.8%)	55 (1.9%)	28 (1.0%)	21 (0.7%)	14 (0.5%)	3 (0.1%)
東京都若者総合相談センター(若ナビα)	2911	2465 (84.7%)	234 (8.0%)	115 (4.0%)	71 (2.4%)	43 (1.5%)	35 (1.2%)	22 (0.8%)	19 (0.7%)	9 (0.3%)	2 (0.1%)
東京ウィメンズプラザ	2911	2438 (83.8%)	220 (7.6%)	110 (3.8%)	88 (3.0%)	55 (1.9%)	37 (1.3%)	31 (1.1%)	19 (0.7%)	10 (0.3%)	8 (0.3%)
東京都女性相談センター	2909	2273 (78.1%)	317 (10.9%)	109 (3.7%)	135 (4.6%)	78 (2.7%)	51 (1.8%)	31 (1.1%)	28 (1.0%)	17 (0.6%)	13 (0.4%)
警視庁総合相談センター	2909	2154 (74.0%)	378 (13.0%)	157 (5.4%)	134 (4.6%)	93 (3.2%)	53 (1.8%)	36 (1.2%)	26 (0.9%)	22 (0.8%)	8 (0.3%)
性犯罪被害相談電話(ハートさん)	2912	2361 (81.1%)	261 (9.0%)	116 (4.0%)	104 (3.6%)	59 (2.0%)	48 (1.6%)	33 (1.1%)	26 (0.9%)	12 (0.4%)	4 (0.1%)
被害者支援都民センター	2912	2430 (83.4%)	228 (7.8%)	106 (3.6%)	87 (3.0%)	56 (1.9%)	52 (1.8%)	31 (1.1%)	16 (0.5%)	7 (0.2%)	4 (0.1%)

相談機関②

相談機関の印象

- 「とてもそう思う」、「そう思う」との回答の和が多いのは、どのようなことをしてくれるかがわからない（65.1%）、どの機関に相談してよいかわからない（64.8%）、どのような相談方法があるかがわからない（63.1%）となっている。
- 上記回答の和が少ないのは、不快なことを言われるかもしれない／余計につらい思いをしそう（41.6%）、被害を解決してくれる／解決策を考えてくれる（42.8%）となっている。

痴漢被害の相談機関に対する印象についてお答えください。

【回答者全体】

	回答数	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない
自分にあつたところに相談することができる	2912 (100.0%)	419 (14.4%)	980 (33.7%)	1115 (38.3%)	312 (10.7%)	86 (3.0%)
被害を解決してくれる／解決策を教えくれそう	2912 (100.0%)	370 (12.7%)	876 (30.1%)	1083 (37.2%)	426 (14.6%)	157 (5.4%)
親身に話を聞いてくれそう	2912 (100.0%)	491 (16.9%)	1133 (38.9%)	968 (33.2%)	224 (7.7%)	96 (3.3%)
不快なことを言われるかもしれない／余計につらい思いをしそう	2912 (100.0%)	380 (13.0%)	832 (28.6%)	1151 (39.5%)	447 (15.4%)	102 (3.5%)
相談しても解決につながらない	2912 (100.0%)	534 (18.3%)	1001 (34.4%)	1049 (36.0%)	258 (8.9%)	70 (2.4%)
どのようなことをしてくれるかがわからない	2912 (100.0%)	661 (22.7%)	1235 (42.4%)	817 (28.1%)	156 (5.4%)	43 (1.5%)
どの機関に相談してよいかわからない	2912 (100.0%)	681 (23.4%)	1206 (41.4%)	836 (28.7%)	143 (4.9%)	46 (1.6%)
どのような相談方法があるかがわからない	2912 (100.0%)	604 (20.7%)	1234 (42.4%)	853 (29.3%)	165 (5.7%)	56 (1.9%)
自分が被害にあつた時に相談したい	2912 (100.0%)	412 (14.1%)	936 (32.1%)	1209 (41.5%)	279 (9.6%)	76 (2.6%)
家族や知人が被害にあつた時に相談を勧めたい	2912 (100.0%)	453 (15.6%)	1106 (38.0%)	1130 (38.8%)	158 (5.4%)	65 (2.2%)

相談機関③

適している相談方法

- 回答者全体：SNS（56.1%）、メール（45.8%）、電話（38.7%）、対面（35.2%）の順となっている。
- 被害者／第三者別：被害者および被害者兼第三者では、SNS＞メール＞電話＞対面の順となっている。第三者は4つの相談方法の比率が同水準となっている。
- 性・性自認別：女性は、SNS＞メール＞電話＞対面の順。男性は、4つの相談方法の比率が同水準となっている。
- 年代別：若い層ほどSNS、高齢層ほどメールと電話および対面を望む傾向がある。

あなたが適していると思う痴漢被害についての相談方法をお答えください。（複数回答）

【回答者全体、被害者／第三者別】

	全体	対面	電話	メール	SNS（LINEなど）	その他
全体	2912	1025 (35.2%)	1127 (38.7%)	1333 (45.8%)	1634 (56.1%)	29 (1.0%)
被害者	1558	499 (32.0%)	523 (33.6%)	709 (45.5%)	977 (62.7%)	11 (0.7%)
第三者	693	313 (45.2%)	330 (47.6%)	347 (50.1%)	321 (46.3%)	13 (1.9%)
被害者兼第三者	661	213 (32.2%)	274 (41.5%)	277 (41.9%)	336 (50.8%)	5 (0.8%)

相談機関③ (つづき)

【性・性自認別】

	全体	対面	電話	メール	SNS (LINEなど)	その他
全体	2912	1025 (35.2%)	1127 (38.7%)	1333 (45.8%)	1634 (56.1%)	29 (1.0%)
男性	602	269 (44.7%)	290 (48.2%)	286 (47.5%)	268 (44.5%)	8 (1.3%)
女性	2282	750 (32.9%)	828 (36.3%)	1036 (45.4%)	1348 (59.1%)	21 (0.9%)
ノンバイナリー／Xジェンダー	28	6 (21.4%)	9 (32.1%)	11 (39.3%)	18 (64.3%)	0 (0.0%)

【年代別】

	全体	対面	電話	メール	SNS (LINEなど)	その他
全体	2911	1024 (35.2%)	1126 (38.7%)	1333 (45.8%)	1634 (56.1%)	29 (1.0%)
10代	258	77 (29.8%)	66 (25.6%)	97 (37.6%)	158 (61.2%)	2 (0.8%)
20代	1127	351 (31.1%)	394 (35.0%)	475 (42.1%)	673 (59.7%)	6 (0.5%)
30代	1126	405 (36.0%)	472 (41.9%)	541 (48.0%)	632 (56.1%)	11 (1.0%)
40代	142	63 (44.4%)	69 (48.6%)	72 (50.7%)	75 (52.8%)	3 (2.1%)
50代	163	83 (50.9%)	75 (46.0%)	91 (55.8%)	63 (38.7%)	3 (1.8%)
60代	95	45 (47.4%)	50 (52.6%)	57 (60.0%)	33 (34.7%)	4 (4.2%)

「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方①

「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方の認知度

- 回答者全体：認知率（「知っている」との回答）は35.7%となっている。
- 被害者／第三者別：認知率は、被害者（29.0%）、第三者（41.7%）、被害者兼第三者（45.1%）となっている。
- 性・性自認別：認知率は男性で高い。
- 年代別：認知率は、10代や40～60代で高く、30代で低い。

「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方を知っていますか。

【回答者全体、被害者／第三者別】

	全体	知っている	知らない
全体	2912 (100.0%)	1039 (35.7%)	1873 (64.3%)
被害者	1558 (100.0%)	452 (29.0%)	1106 (71.0%)
第三者	693 (100.0%)	289 (41.7%)	404 (58.3%)
被害者 兼 第三者	661 (100.0%)	298 (45.1%)	363 (54.9%)

「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方①（つづき）

【性・性自認別】

	全体	知っている	知らない
全体	2912 (100.0%)	1039 (35.7%)	1873 (64.3%)
男性	602 (100.0%)	260 (43.2%)	342 (56.8%)
女性	2282 (100.0%)	769 (33.7%)	1513 (66.3%)
ノンバイナリー／Xジェンダー	28 (100.0%)	10 (35.7%)	18 (64.3%)

【年代別】

	全体	知っている	知らない
全体	2911 (100.0%)	1038 (35.7%)	1873 (64.3%)
10代	258 (100.0%)	113 (43.8%)	145 (56.2%)
20代	1127 (100.0%)	425 (37.7%)	702 (62.3%)
30代	1126 (100.0%)	323 (28.7%)	803 (71.3%)
40代	142 (100.0%)	65 (45.8%)	77 (54.2%)
50代	163 (100.0%)	66 (40.5%)	97 (59.5%)
60代	95 (100.0%)	46 (48.4%)	49 (51.6%)

「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方②

「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方の認知ルート

- 回答者全体：電車内・駅構内のポスターなど（52.0%）、SNS（22.9%）、TV・ラジオ・新聞（20.3%）、Webニュース（16.4%）、デジタルサイネージ（14.1%）の順で多くなっている。
- 被害者／第三者別：被害者は回答者全体と同様の傾向、第三者は回答者全体比で電車内・駅構内のポスターなどやTV・ラジオ・新聞が多い傾向、被害者兼第三者は回答者全体比でSNS、Webニュース、デジタルサイネージが多い傾向等がみられる。
- 性・性自認別：女性は回答者全体と同様の傾向。男性は回答者全体比で電車内・駅構内のポスターなどが多い。
- 年代別：回答者全体比で、若い層ほどSNSや学校、高齢層ほど電車内・駅構内のポスターなどやTV・ラジオ・新聞が多い。

この考え方をどこで知ったのかお答えください。（複数回答）

【回答者全体、被害者／第三者別】

	全体	電車内・駅構内のポスターなど	デジタルサイネージ（情報・広告を表示するディスプレイ）	Webニュース	TV・ラジオ・新聞	SNS	ホームページ（ニュース以外）	学校	友人・知人・家族から聞いた	その他
全体	1039	540 (52.0%)	147 (14.1%)	170 (16.4%)	211 (20.3%)	238 (22.9%)	81 (7.8%)	79 (7.6%)	83 (8.0%)	26 (2.5%)
被害者	452	225 (49.8%)	44 (9.7%)	50 (11.1%)	79 (17.5%)	115 (25.4%)	10 (2.2%)	34 (7.5%)	29 (6.4%)	14 (3.1%)
第三者	289	177 (61.2%)	37 (12.8%)	53 (18.3%)	72 (24.9%)	43 (14.9%)	28 (9.7%)	20 (6.9%)	32 (11.1%)	10 (3.5%)
被害者兼第三者	298	138 (46.3%)	66 (22.1%)	67 (22.5%)	60 (20.1%)	80 (26.8%)	43 (14.4%)	25 (8.4%)	22 (7.4%)	2 (0.7%)

「周囲の人が痴漢を防ぐ」という考え方②（つづき）

【性・性自認別】

	全体	電車内・駅構内のポスターなど	デジタルサイネージ（情報・広告を表示するディスプレイ）	Webニュース	TV・ラジオ・新聞	SNS	ホームページ（ニュース以外）	学校	友人・知人・家族から聞いた	その他
全体	1039	540 (52.0%)	147 (14.1%)	170 (16.4%)	211 (20.3%)	238 (22.9%)	81 (7.8%)	79 (7.6%)	83 (8.0%)	26 (2.5%)
男性	260	170 (65.4%)	42 (16.2%)	53 (20.4%)	64 (24.6%)	37 (14.2%)	19 (7.3%)	15 (5.8%)	22 (8.5%)	6 (2.3%)
女性	769	365 (47.5%)	103 (13.4%)	116 (15.1%)	145 (18.9%)	197 (25.6%)	61 (7.9%)	64 (8.3%)	61 (7.9%)	20 (2.6%)
ノンバイナリー／Xジェンダー	10	5 (50.0%)	2 (20.0%)	1 (10.0%)	2 (20.0%)	4 (40.0%)	1 (10.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)

【年代別】

	全体	電車内・駅構内のポスターなど	デジタルサイネージ（情報・広告を表示するディスプレイ）	Webニュース	TV・ラジオ・新聞	SNS	ホームページ（ニュース以外）	学校	友人・知人・家族から聞いた	その他
全体	1038	539 (51.9%)	146 (14.1%)	170 (16.4%)	211 (20.3%)	238 (22.9%)	81 (7.8%)	79 (7.6%)	83 (8.0%)	26 (2.5%)
10代	113	57 (50.4%)	16 (14.2%)	14 (12.4%)	21 (18.6%)	33 (29.2%)	3 (2.7%)	22 (19.5%)	7 (6.2%)	0 (0.0%)
20代	425	201 (47.3%)	63 (14.8%)	64 (15.1%)	74 (17.4%)	124 (29.2%)	28 (6.6%)	43 (10.1%)	31 (7.3%)	9 (2.1%)
30代	323	169 (52.3%)	48 (14.9%)	54 (16.7%)	64 (19.8%)	65 (20.1%)	27 (8.4%)	9 (2.8%)	26 (8.0%)	9 (2.8%)
40代	65	39 (60.0%)	11 (16.9%)	20 (30.8%)	16 (24.6%)	12 (18.5%)	12 (18.5%)	2 (3.1%)	9 (13.8%)	3 (4.6%)
50代	66	39 (59.1%)	6 (9.1%)	10 (15.2%)	22 (33.3%)	2 (3.0%)	8 (12.1%)	2 (3.0%)	9 (13.6%)	2 (3.0%)
60代	46	34 (73.9%)	2 (4.3%)	8 (17.4%)	14 (30.4%)	2 (4.3%)	3 (6.5%)	1 (2.2%)	1 (2.2%)	3 (6.5%)

痴漢撲滅に向けた考え・行動①

痴漢の被害や、周囲の人が痴漢を防ぐことへの考え方

- 「とてもよくあてはまる」、「よくあてはまる」との回答の和が多いのは、確証が持てなければ、被害者を助けにくい（69.1%）、助けた後に、どの程度時間がとられるかが分からない（69.0%）、助けた後に、どのような結果になるかが分からない（68.6%）、周りの人が助けると被害を止めることができる（65.7%）となっている。
- 上記回答の和が少ないのは、痴漢の被害は、私の問題ではない（27.5%）、自分が助けなくても、他の誰かが助けてくれる（29.6%）となっている。

痴漢の被害や、周囲の人が痴漢を防ぐことについての次の意見について、あなたはどのようにお考えですか。

【回答者全体】

	回答数	とてもそう思う	そう思う	どちらともいえない	そう思わない	まったくそう思わない
周りの人が助けると被害を止めることができる	2912 (100.0%)	608 (20.9%)	1304 (44.8%)	757 (26.0%)	201 (6.9%)	42 (1.4%)
自分が助けると周りの人も助けてくれる	2912 (100.0%)	401 (13.8%)	1039 (35.7%)	1025 (35.2%)	360 (12.4%)	87 (3.0%)
自分一人で助けても、被害者を十分に助けられるかわからない	2912 (100.0%)	592 (20.3%)	1197 (41.1%)	906 (31.1%)	177 (6.1%)	40 (1.4%)
自分が助けなくても、他の誰かが助けてくれる	2912 (100.0%)	242 (8.3%)	621 (21.3%)	1292 (44.4%)	592 (20.3%)	165 (5.7%)
確証が持てなければ、被害者を助けにくい	2912 (100.0%)	850 (29.2%)	1162 (39.9%)	704 (24.2%)	153 (5.3%)	43 (1.5%)
助けた後に、どの程度時間がとられるかが分からない	2912 (100.0%)	875 (30.0%)	1133 (38.9%)	705 (24.2%)	167 (5.7%)	32 (1.1%)
助けた後に、どのような結果になるかが分からない	2912 (100.0%)	808 (27.7%)	1190 (40.9%)	764 (26.2%)	121 (4.2%)	29 (1.0%)
他人にはかかわりたくない	2912 (100.0%)	349 (12.0%)	776 (26.6%)	1243 (42.7%)	428 (14.7%)	116 (4.0%)
痴漢の被害は、私の問題ではない	2912 (100.0%)	254 (8.7%)	548 (18.8%)	1202 (41.3%)	655 (22.5%)	253 (8.7%)
自分一人が助けるのは恥ずかしい	2912 (100.0%)	301 (10.3%)	818 (28.1%)	1057 (36.3%)	534 (18.3%)	202 (6.9%)

痴漢撲滅に向けた考え・行動②

次に痴漢を目撃したら行動を取るか

- 回答者全体：「必ず行動を取ると思う」、「行動を取ると思う」との回答の和は46.5%となっている。
- 被害者／第三者別：上記回答の和は、被害者で43.9%、第三者で51.2%、被害者兼第三者で47.8%となっている。
- 性・性自認別：回答者全体比で、行動を取るとする回答（上記回答の和）は男性で多い。
- 年代別：回答者全体比で、行動を取るとする回答（上記回答の和）は50～60代や10代が多い。

あなたは痴漢を目撃したら、痴漢を止めたり、被害者を助けたりするために、行動を取るとお考えですか。

【回答者全体、被害者／第三者別】

	全体	必ず行動を取ると思う	行動を取ると思う	どちらでもない	行動は取らないと思う	絶対に行動は取らないと思う
全体	2912 (100.0%)	234 (8.0%)	1121 (38.5%)	1079 (37.1%)	398 (13.7%)	80 (2.7%)
被害者	1558 (100.0%)	91 (5.8%)	593 (38.1%)	598 (38.4%)	237 (15.2%)	39 (2.5%)
第三者	693 (100.0%)	65 (9.4%)	290 (41.8%)	251 (36.2%)	71 (10.2%)	16 (2.3%)
被害者 兼 第三者	661 (100.0%)	78 (11.8%)	238 (36.0%)	230 (34.8%)	90 (13.6%)	25 (3.8%)

痴漢撲滅に向けた考え・行動② (つづき)

【性・性自認別】

	全体	必ず行動を取ると思う	行動を取ると思う	どちらでもない	行動は取らないと思う	絶対に行動は取らないと思う
全体	2912 (100.0%)	234 (8.0%)	1121 (38.5%)	1079 (37.1%)	398 (13.7%)	80 (2.7%)
男性	602 (100.0%)	63 (10.5%)	273 (45.3%)	196 (32.6%)	57 (9.5%)	13 (2.2%)
女性	2282 (100.0%)	169 (7.4%)	839 (36.8%)	876 (38.4%)	335 (14.7%)	63 (2.8%)
ノンバイナリー／Xジェンダー	28 (100.0%)	2 (7.1%)	9 (32.1%)	7 (25.0%)	6 (21.4%)	4 (14.3%)

【年代別】

	全体	必ず行動を取ると思う	行動を取ると思う	どちらでもない	行動は取らないと思う	絶対に行動は取らないと思う
全体	2911 (100.0%)	234 (8.0%)	1120 (38.5%)	1079 (37.1%)	398 (13.7%)	80 (2.7%)
10代	258 (100.0%)	22 (8.5%)	112 (43.4%)	75 (29.1%)	44 (17.1%)	5 (1.9%)
20代	1127 (100.0%)	97 (8.6%)	449 (39.8%)	389 (34.5%)	166 (14.7%)	26 (2.3%)
30代	1126 (100.0%)	74 (6.6%)	384 (34.1%)	472 (41.9%)	153 (13.6%)	43 (3.8%)
40代	142 (100.0%)	20 (14.1%)	50 (35.2%)	52 (36.6%)	17 (12.0%)	3 (2.1%)
50代	163 (100.0%)	11 (6.7%)	76 (46.6%)	63 (38.7%)	10 (6.1%)	3 (1.8%)
60代	95 (100.0%)	10 (10.5%)	49 (51.6%)	28 (29.5%)	8 (8.4%)	0 (0.0%)

痴漢撲滅に向けた考え・行動③

痴漢を止めたり、被害者を助けたりする後押し

- 「とても後押しになる」、「後押しになる」との回答の和が多いのは、周囲の人が一緒に行動してくれること（79.6%）、被害者が助けを求めてくること（79.3%）、痴漢をとがめることが当然という意識をみんなが持っていること（75.5%）となっている。
- 上記回答の和が少ないのは、事後にアプリなどでワンタッチで行政の相談窓口へ連絡・相談（60.0%）、その場でアプリなどでワンタッチで行政の相談窓口へ連絡・相談（62.4%）、匿名で行政の相談窓口へ連絡・相談（63.0%）となっている。

痴漢を目撃したときに、次のようなことは、痴漢を止めたり、被害者を助けたりする後押しになると思いますか。

【回答者全体】

	全体	とても後押しになる	後押しになる	どちらでもない	後押しにはならない	まったく後押しにはならない
被害者が助けを求めてくること	2912 (100.0%)	1080 (37.1%)	1228 (42.2%)	478 (16.4%)	104 (3.6%)	22 (0.8%)
周囲の人が一緒に行動してくれること	2912 (100.0%)	1312 (45.1%)	1005 (34.5%)	495 (17.0%)	75 (2.6%)	25 (0.9%)
痴漢行為についての正確な知識を持っていること	2912 (100.0%)	818 (28.1%)	1221 (41.9%)	751 (25.8%)	98 (3.4%)	24 (0.8%)
どこに相談したらよいかの知識を持っていること	2912 (100.0%)	732 (25.1%)	1185 (40.7%)	799 (27.4%)	158 (5.4%)	38 (1.3%)
痴漢をとがめることが当然という意識をみんなが持っていること	2912 (100.0%)	1070 (36.7%)	1130 (38.8%)	586 (20.1%)	101 (3.5%)	25 (0.9%)
もし空振りだったとしても責められないこと	2912 (100.0%)	1031 (35.4%)	1010 (34.7%)	694 (23.8%)	130 (4.5%)	47 (1.6%)
その場でアプリなどでワンタッチで行政の相談窓口へ連絡・相談	2912 (100.0%)	739 (25.4%)	1077 (37.0%)	877 (30.1%)	172 (5.9%)	47 (1.6%)
事後にアプリなどでワンタッチで行政の相談窓口へ連絡・相談	2912 (100.0%)	683 (23.5%)	1064 (36.5%)	941 (32.3%)	176 (6.0%)	48 (1.6%)
匿名で行政の相談窓口へ連絡・相談	2912 (100.0%)	745 (25.6%)	1089 (37.4%)	887 (30.5%)	150 (5.2%)	41 (1.4%)

痴漢撲滅に向けた考え・行動④

痴漢撲滅のための意識等の変容

- 回答者全体：痴漢は犯罪という認識を広めること（69.9%）、被害者が責められない社会を実現すること（53.3%）、周囲の人も当事者という認識を広めること（42.5%）の順で多くなっている。
- 被害者／第三者別：大きな差はみられない。
- 性・性自認別：回答者全体比で、男性では、被害者が責められない社会を実現すること、周囲の人も当事者という認識を広めることがやや少ない。
- 年代別：大きな差はみられない。

あなたは、痴漢撲滅のためにどのようなことが重要だと思いますか。（複数回答）

【回答者全体、被害者／第三者別】

	全体	痴漢は犯罪 という認識を 広めること	痴漢に関する 誤った認識を 正すこと	被害者が責 められない社 会を実現する こと	官民一体と なって痴漢撲 滅への気運 を高めること	周囲の人も 当事者という 認識を広める こと	その他
全体	2912	2036 (69.9%)	1085 (37.3%)	1552 (53.3%)	946 (32.5%)	1239 (42.5%)	86 (3.0%)
被害者	1558	1144 (73.4%)	562 (36.1%)	871 (55.9%)	495 (31.8%)	693 (44.5%)	37 (2.4%)
第三者	693	494 (71.3%)	251 (36.2%)	353 (50.9%)	249 (35.9%)	300 (43.3%)	34 (4.9%)
被害者 兼 第三者	661	398 (60.2%)	272 (41.1%)	328 (49.6%)	202 (30.6%)	246 (37.2%)	15 (2.3%)

痴漢撲滅に向けた考え・行動④ (つづき)

【性・性自認別】

	全体	痴漢は犯罪 という認識を 広めること	痴漢に関する 誤った認識を 正すこと	被害者が責 められない社 会を実現する こと	官民一体と なって痴漢撲 滅への気運 を高めること	周囲の人も 当事者という 認識を広める こと	その他
全体	2912	2036 (69.9%)	1085 (37.3%)	1552 (53.3%)	946 (32.5%)	1239 (42.5%)	86 (3.0%)
男性	602	405 (67.3%)	228 (37.9%)	282 (46.8%)	197 (32.7%)	222 (36.9%)	31 (5.1%)
女性	2282	1616 (70.8%)	845 (37.0%)	1259 (55.2%)	737 (32.3%)	1003 (44.0%)	54 (2.4%)
ノンバイナリー／Xジェンダー	28	15 (53.6%)	12 (42.9%)	11 (39.3%)	12 (42.9%)	14 (50.0%)	1 (3.6%)

【年代別】

	全体	痴漢は犯罪 という認識を 広めること	痴漢に関する 誤った認識を 正すこと	被害者が責 められない社 会を実現する こと	官民一体と なって痴漢撲 滅への気運 を高めること	周囲の人も 当事者という 認識を広める こと	その他
全体	2911	2035 (69.9%)	1084 (37.2%)	1551 (53.3%)	946 (32.5%)	1239 (42.6%)	86 (3.0%)
10代	258	195 (75.6%)	114 (44.2%)	148 (57.4%)	79 (30.6%)	109 (42.2%)	2 (0.8%)
20代	1127	758 (67.3%)	419 (37.2%)	616 (54.7%)	336 (29.8%)	468 (41.5%)	26 (2.3%)
30代	1126	786 (69.8%)	408 (36.2%)	582 (51.7%)	382 (33.9%)	480 (42.6%)	35 (3.1%)
40代	142	98 (69.0%)	47 (33.1%)	76 (53.5%)	55 (38.7%)	64 (45.1%)	7 (4.9%)
50代	163	126 (77.3%)	65 (39.9%)	78 (47.9%)	56 (34.4%)	69 (42.3%)	9 (5.5%)
60代	95 (2.61)	72 (75.8%)	31 (32.6%)	51 (53.7%)	38 (40.0%)	49 (51.6%)	7 (7.4%)

痴漢撲滅に向けた考え・行動⑤

痴漢撲滅に向けた効果がありそうな取り組み

- 回答者全体：防犯カメラの設置（72.0%）、届け出・連絡の簡素化・簡略化（44.7%）、防犯ブザーの普及（37.8%）、加害者の再犯防止プログラム（30.8%）、防犯アプリの普及（30.7%）、匿名で行政の相談窓口で連絡・相談（被害時）（30.4%）の順で多くなっている。
- 被害者／第三者別：大きな差はみられない。
- 性・性自認別：回答者全体比で、男性では届け出・連絡の簡素化・簡略化等が少ないが、概ね差はみられない。
- 年代別：回答者全体比で、50～60代で防犯ブザーの普及、防犯カメラの設置、届け出・連絡の簡素化・簡略化等が多い。

痴漢撲滅に向けて効果がありそうだと思う取り組みをお答えください。（複数回答）

【回答者全体、被害者／第三者別】

	全体	防犯カメラの設置	防犯ブザーの普及	痴漢撲滅に賛同する人が共通で身に着けるアクセサリー	届け出・連絡の簡素化・簡略化	匿名で行政の相談窓口で連絡・相談（被害時）	匿名で行政の相談窓口で連絡・相談（事後）	正しい知識の広報（ワンストップのサイトなど）	防犯アプリ（DigiPolice）の普及	加害者の再犯防止プログラム	官民連携によるハード整備	官民連携による啓発活動	その他
全体	2912	2098 (72.0%)	1101 (37.8%)	533 (18.3%)	1302 (44.7%)	885 (30.4%)	842 (28.9%)	692 (23.8%)	893 (30.7%)	896 (30.8%)	481 (16.5%)	411 (14.1%)	74 (2.5%)
被害者	1558	1189 (76.3%)	556 (35.7%)	261 (16.8%)	722 (46.3%)	492 (31.6%)	469 (30.1%)	370 (23.7%)	491 (31.5%)	515 (33.1%)	265 (17.0%)	221 (14.2%)	42 (2.7%)
第三者	693	504 (72.7%)	316 (45.6%)	127 (18.3%)	300 (43.3%)	195 (28.1%)	187 (27.0%)	164 (23.7%)	200 (28.9%)	206 (29.7%)	111 (16.0%)	114 (16.5%)	17 (2.5%)
被害者 兼 第三者	661	405 (61.3%)	229 (34.6%)	145 (21.9%)	280 (42.4%)	198 (30.0%)	186 (28.1%)	158 (23.9%)	202 (30.6%)	175 (26.5%)	105 (15.9%)	76 (11.5%)	15 (2.3%)

痴漢撲滅に向けた考え・行動⑤ (つづき)

【性・性自認別】

	全体	防犯カメラの設置	防犯ブザーの普及	痴漢撲滅に賛同する人が共通で身に着けるアクセサリー	届け出・連絡の簡素化・簡略化	匿名で行政の相談窓口 に連絡・相談 (被害時)	匿名で行政の相談窓口 に連絡・相談 (事後)	正しい知識の 広報(ワンストップのサイト など)	防犯アプリ (Digital Police)の普及	加害者の再 犯防止プロ グラム	官民連携に よるハード整 備	官民連携に よる啓発活 動	その他
全体	2912	2098 (72.0%)	1101 (37.8%)	533 (18.3%)	1302 (44.7%)	885 (30.4%)	842 (28.9%)	692 (23.8%)	893 (30.7%)	896 (30.8%)	481 (16.5%)	411 (14.1%)	74 (2.5%)
男性	602	419 (69.6%)	238 (39.5%)	127 (21.1%)	226 (37.5%)	153 (25.4%)	152 (25.2%)	133 (22.1%)	159 (26.4%)	160 (26.6%)	96 (15.9%)	86 (14.3%)	15 (2.5%)
女性	2282	1663 (72.9%)	852 (37.3%)	399 (17.5%)	1066 (46.7%)	721 (31.6%)	683 (29.9%)	547 (24.0%)	727 (31.9%)	731 (32.0%)	381 (16.7%)	320 (14.0%)	59 (2.6%)
ノンバイナリー／Xジェンダー	28	16 (57.1%)	11 (39.3%)	7 (25.0%)	10 (35.7%)	11 (39.3%)	7 (25.0%)	12 (42.9%)	7 (25.0%)	5 (17.9%)	4 (14.3%)	5 (17.9%)	0 (0.0%)

【年代別】

	全体	防犯カメラの設置	防犯ブザーの普及	痴漢撲滅に賛同する人が共通で身に着けるアクセサリー	届け出・連絡の簡素化・簡略化	匿名で行政の相談窓口 に連絡・相談 (被害時)	匿名で行政の相談窓口 に連絡・相談 (事後)	正しい知識の 広報(ワンストップのサイト など)	防犯アプリ (Digital Police)の普及	加害者の再 犯防止プロ グラム	官民連携に よるハード整 備	官民連携に よる啓発活 動	その他
全体	2911	2097 (72.0%)	1101 (37.8%)	532 (18.3%)	1302 (44.7%)	884 (30.4%)	842 (28.9%)	692 (23.8%)	893 (30.7%)	895 (30.7%)	480 (16.5%)	411 (14.1%)	74 (2.5%)
10代	258	189 (73.3%)	76 (29.5%)	52 (20.2%)	102 (39.5%)	82 (31.8%)	83 (32.2%)	61 (23.6%)	81 (31.4%)	76 (29.5%)	35 (13.6%)	28 (10.9%)	3 (1.2%)
20代	1127	790 (70.1%)	350 (31.1%)	207 (18.4%)	500 (44.4%)	357 (31.7%)	324 (28.7%)	255 (22.6%)	365 (32.4%)	336 (29.8%)	172 (15.3%)	133 (11.8%)	22 (2.0%)
30代	1126	821 (72.9%)	482 (42.8%)	201 (17.9%)	508 (45.1%)	333 (29.6%)	325 (28.9%)	276 (24.5%)	329 (29.2%)	346 (30.7%)	202 (17.9%)	178 (15.8%)	37 (3.3%)
40代	142	97 (68.3%)	57 (40.1%)	30 (21.1%)	62 (43.7%)	38 (26.8%)	40 (28.2%)	34 (23.9%)	50 (35.2%)	49 (34.5%)	29 (20.4%)	27 (19.0%)	3 (2.1%)
50代	163	123 (75.5%)	85 (52.1%)	27 (16.6%)	80 (49.1%)	45 (27.6%)	44 (27.0%)	37 (22.7%)	43 (26.4%)	58 (35.6%)	24 (14.7%)	27 (16.6%)	6 (3.7%)
60代	95	77 (81.1%)	51 (53.7%)	15 (15.8%)	50 (52.6%)	29 (30.5%)	26 (27.4%)	29 (30.5%)	25 (26.3%)	30 (31.6%)	18 (18.9%)	18 (18.9%)	3 (3.2%)

東京都による痴漢対策などに関する意見・要望①

大項目	中項目	主な意見
広報・周知	広報・啓発不足の解消	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報・啓発が不十分なため、もっと大々的に広報を行った方がよい。 ・ テレビやSNSなど誰でも目が入るような媒体を活用して、広報を行った方がよい。 ・ 痴漢撲滅のための都の取組に関する情報発信が不十分である。 ・ 若者が被害にあうことが多いため、SNS等を活用したわかりやすい情報発信が必要である。 ・ 性加害を防ぐためにも幼少期からの教育が必要である。（学校の授業、教育プログラムの開発等） ・ 痴漢の対処方法、護身術等に関する情報発信がなされるとよい。 ・ 目撃時の対応方法がわかからない。 ・ 被害データの公開、痴漢防止等のキャンペーン効果について情報発信してほしい。 ・ 被害者側がどう動けば良いのかという点において、まだ周知が不十分。
	被害者に寄り添った広報、メッセージ配信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 痴漢防止ポスターを貼るよりも、被害にあっている人を守るメッセージを東京都が公式に発信するほうが何倍も効果がある。被害者が相談窓口に来るのを待たずに、SNSでメッセージを発信すべき。 ・ 「キャンペーン」なんて軽々しく言わないでほしい。
	外国語での広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近では海外からの旅行客が来日記念に痴漢をして帰国したり、痴漢行為を目的に来日したりすることもあると聞かため、外国語（特に中国語、韓国語）も用いて罰則を周知徹底させた方がよい。
	ポスターでの周知	<ul style="list-style-type: none"> ・ 痴漢多発地域を中心にポスター掲示数を増やした方がよい。 ・ 痴漢加害者が脅威に感じるような内容を記載したポスターの掲示を行った方がよい。 ・ 横浜駅に貼ってある痴漢撲滅ポスターはパンチがあって記憶に残りやすい。写真に撮ってSNSにあげてる人がいたほどだった。
	痴漢行為についての周知	<ul style="list-style-type: none"> ・ 痴漢が犯罪ということの周知が必要。 ・ 痴漢行為の具体例の周知、グレーゾーンな行為（座っている時に手の甲が太ももに触れる等）に対する注意喚起が必要。 ・ 検挙率等のデータを活用した周知が必要。 ・ 痴漢被害による後遺症等、被害者の苦しみを伝える広報が必要。
	防犯アプリ・防犯グッズの周知・普及促進	<ul style="list-style-type: none"> ・ アプリの有効性についてもっと周知してほしい。 ・ 学校でアプリの紹介をした方がよい。 ・ 防犯ベル等の普及活動をもっとしてほしい。
	現状の広報に満足	<ul style="list-style-type: none"> ・ ポスターなどもよく見かけるようになり、改善している印象がある。

東京都による痴漢対策などに関する意見・要望②

大項目	中項目	主な意見
被害者・加害者等への対策	被害者への対策・被害者ケアの強化	<ul style="list-style-type: none"> 被害者が救われるような、被害者に寄り添った対策をしてほしい。 被害者が助けを求めやすい合図や言葉等があるとよい。 被害者が被害後も公共交通機関を安心して使えるようにケアしてほしい。 被害者が必要なケアにつながるように、然るべき機関につないでほしい。
	男性被害者への対策	<ul style="list-style-type: none"> 男性の被害も多くみられるため、男性被害の対策もしてほしい。
	加害者に対する厳罰化等	<ul style="list-style-type: none"> 厳罰化（実名公表等）の検討が必要。 東京都独自の罰則等の整備が必要。 なぜ被害者と目撃者に対策を求めるのか。加害者をターゲットにした対策をもっと深く考えてほしい。
	痴漢未然防止への対策	<ul style="list-style-type: none"> SNS等で痴漢募集といった変な投稿を見たことがある。そういうものも取り締まってほしい。 「痴漢がおこったら」ではなく「起こさせない」取組をしてほしい。起こってからでは遅い。
	性犯罪者としての対応	<ul style="list-style-type: none"> 諸外国同様に、性犯罪者に厳しい対応をしてほしい。（GPSの埋め込み等） 性犯罪者の公共交通機関の利用制限を検討してほしい。 痴漢行為が重い罪であることを知る等、加害者の意識変革が必要。 犯罪者情報の開示を検討してほしい。
環境整備	痴漢行為をしづらい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> 出来る限りの範囲で痴漢行為をしにくい環境づくりが必要。
	混雑緩和対策	<ul style="list-style-type: none"> 企業に対して、もっとリモートワークを推進してほしい。 フレックスタイムの義務化等、オフピーク通勤・通学の推進を図ってほしい。 東京一極集中の解消を行い、混雑緩和を図ってほしい。
	味方がわかる仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> 助けたくても女性1人の力では難しいことも多いため、手伝ってくれる男性がわかりやすいようになるとよい。
	痴漢行為の基準の明確化・グレーゾンの行為に対する対策	<ul style="list-style-type: none"> どの程度で「痴漢」と認識されるのか基準が曖昧で見つけても報告しにくい。 空いた車内で隣に座られる・僅かに触れ続ける・息を吹きかけてくる等のグレーゾンの行為に対する対策、対処方法、相談方法について知りたい。
	時代に即した対策	<ul style="list-style-type: none"> 常にアップデートされた、時代に即した正しい対策が必要。
	近隣県との連携、全国レベルでの対策	<ul style="list-style-type: none"> 近県との協力体制が取れることで、痴漢対策の効果がより上がるのではないか。 東京都だけではなく、全国レベルで対策をすべき。
	官民一体となつての取組	<ul style="list-style-type: none"> 官民一体となって痴漢撲滅のために行動していくことが大切だと思う。
	現状の対策に満足	<ul style="list-style-type: none"> 官民一体できているので、とても良いと思う。

東京都による痴漢対策などに関する意見・要望③

大項目	中項目	主な意見
相談等	相談窓口の充実	<ul style="list-style-type: none"> • 確信が持てないと相談しづらいため、気のせいでも相談・通報ができる窓口があるとよい。 • 相談しやすい機関を作るなど被害者が泣き寝入りをしないうな体制を整えてほしい。 • 親身になってくれる、相談者に寄り添ってくれる相談員を配置してほしい。 • 匿名相談できる相談システムが普及するとよい。
	相談窓口および相談方法等の周知	<ul style="list-style-type: none"> • 相談機関の情報、相談機関の対応等について、もっと周知されると相談しやすい。 • 被害を受けた時の行動、連絡先等が周知されるとよい。 • 被害にあいやすい若い人が使うSNSで相談窓口について広めるとよい。
	相談者の負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> • 相談に時間も手間もかかるため、相談しづらい。 • 通学時など時間がない時でも連絡・相談できる方法があると嬉しい。 • 電話、SNSやGoogleフォームなどを活用して起きた場所、その時にすぐに連絡できるような張り紙があるとよい。
	相談者が救済される仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> • 現行犯で捕まえない限り、相談しても解決しない。心もあまり楽にならないと感じ、相談する気もおきない。 • 男性被害者が声をあげづらい。
	被害者の安全が守られる仕組み	<ul style="list-style-type: none"> • 正式な手続きを踏むことで自分の身分が明かされ、将来的な報復があるかもしれないと思うと行動できない。
意識変革	社会全体の意識変革	<ul style="list-style-type: none"> • 性犯罪者の矯正は難しいと昔から聞くので、痴漢行為が減らないと諦めてしまっている。 • 痴漢される側が悪いという風潮があったり、女性にとって痴漢が日常的な部分もあり、悪い意味での慣れがあったりする。また、周囲（特に男性）の正しい理解も必要。 • 痴漢撲滅の社会づくりが必要（社会全体で議論を深める等）。
	被害者、周囲の人の意識変革	<ul style="list-style-type: none"> • 被害者が声をあげやすい環境の整備が必要。 • スマホ操作やイヤホン装着で周囲に無関心な人が増えている。見て見ぬふりをするのではなく、アクティブバイスタンダーが増えるようになってほしい。 • 痴漢を見かけた際の対応の仕方を企業や学校で講習会等を行なえるとよい。 • SOSがわかりにくい、手助けしにくい。 • 加害者に危害を加えられないか怖くて、何もできない。 • かかわると損をするという状況を変える努力をしてほしい。 • 見てみぬふりも同罪だということの理解が必要。
	痴漢被害者への周囲の理解	<ul style="list-style-type: none"> • 痴漢されたとクラスメート（男子）に言った時、「お前が？」と言われ、不細工なのに自惚れるなどと思われるのが怖くて誰にも言えなくなった。

東京都による痴漢対策などに関する意見・要望④

大項目	中項目	主な意見
その他、意見・要望		<ul style="list-style-type: none">• 当事者の意見を反映させる。• 一般と行政で考えがズれていると感じるので様々な立場の人と話し合っ欲しい。• 何もしないで欲しい。• 行政の対策は当たり障りない役所対応過ぎるので、相談しようと思わない。現場の人間が悪い訳ではないので、政治家の給料を減らして現場に回し、より良い人材を確保すべき。• もっと性犯罪対策に予算をつけて欲しい。

VIII 有識者意見

齊藤章佳 氏 ①（大船榎本クリニック 精神保健福祉部長）

スクリーニング調査について

- 女性の被害率はもっと高いと思っていた。加害者はバレないように痴漢行為を行い、被害者は何度か同じような接触をされて痴漢なのではないかと気付くが、気付くまでの間にかなりの暗数がありそうだ。

被害者調査について

- 被害状況は、クリニックに通う加害者から聞く状況と合致している印象。
- 加害者にとっては、すぐ逃げられることを含め、いかに痴漢行為を成功できるかが重要。各停やドア近辺が多いこと等は納得がいく。
- 泣き寝入りしている人が多い現状をどう変えるか。加害者が狙うのは痴漢をしても何も対応しない人・できない人であり、現状では加害者だけが得をしている。
- 加害者の多くは逮捕を恐れ、少しでも抵抗されたらやめる。一方、怖くて硬直している人にはどんどんエスカレートさせていく。加害者は他者迎合的で、臆病でありバレないように行為におよぶタイプが多い。だからこそ、少しの介入で諦める人が多い。
- 周囲の人が「大丈夫?」と被害者に声をかけるだけで、痴漢行為をやめさせ、被害者の孤立を防ぐ効果がある。直接加害者に介入することはハードルが高いため、効果的な声かけをすることを目指してはどうか。
- クリニックに通う加害者がターゲットとしていたのは制服を着ている小・中・高校生。16～19歳の分析は重要である。

第三者調査について

- 加害者は男性が多いので、周囲の男性が反応することが重要。女性が介入するにはかなりハードルが高い。いかに男性側の行動変容の動機づけを作り、それを促していくか。
- 痴漢と気付いていながら声をあげない（関わりたくない、痴漢か確証が持てない）のは、加害行為に間接的に加担する行為だとの社会認識が広がるとよい。
- 加害者は第三者に介入されることを一番嫌う。被害者・加害者の二者関係に、第三者が介入すると、逮捕の確率は高くなる。加害者が嫌がることをやらないと痴漢は減らない。

齊藤章佳 氏 ② (大船榎本クリニック 精神保健福祉部長)

共通設問について

- 痴漢撲滅のツールやキャンペーンへの被害者の認知率が低めとのことだが、小中高での薬物乱用防止教育の講演の際には必ずDigiPoliceを紹介しているが、知らない生徒が多い。誰でも使いやすいアプリなのでうまく認知されて使われるとよい。
- 相談機関の認知率が低い、被害者と相談機関の間をつなぐ仕組みがあるとよい。直接相談機関につながるのはハードルが高い。
- 被害者も第三者も、被害を訴えた後にかなりの時間が取られるとの認識をもっている。また、それによる遅延証明書も発行されない。そのため、声をあげない方向に行ってしまう。性暴力は構造の中で起こるため、社会の構造を変えるためのソーシャル・アクションも重要である。

施策について

- 自分の身体は自分のもの（性的自己決定権）という認識を持ち、プライベートゾーンを不当に触られたら、きちんとSOS・反発・抵抗をして声をあげてよいということも含めた包括的性教育を、子どもの頃から行っていくという国民の意識改革。
- 子どもたちは被害を親や先生にはなかなか言えない。現実的には、友人がゲートキーパーになり、然るべき大人につなげることが望ましいが、そのためにも、相談しても否定されない友人関係を作ること、社会全体には「痴漢は性暴力である」という当たり前の認識が必要となる。
- 被害者や保護者は、被害にあいやすい場所等についての視点や情報を知らない可能性も高い。犯罪機会論に基づいた学びを学校単位で実施できるとよい。
- 被害者が相談や連絡をしたい時に、即時・簡単につながるアプリがあるとよい。SNS等を使ってワンストップで相談を受け、適宜相談支援機関につなげる機能があると、学生等は使いやすい。
- 現在の啓発ポスターは加害者に対してあまり効果的と思われない。第三者の行動を促すポスターの方が、痴漢予防効果、介入効果があるのではないかと（痴漢にあっている人に「大丈夫?」と声がけすること、痴漢の見て見ぬふりは痴漢への加担と等しいこと等を伝えるポスター等）。

スクリーニング調査について

- 女性の被害経験ありの割合、被害率や目撃・居合わせ率と混雑状況が比例すること等、普段から感じている状況と合致する事項が多い。
- 多くの年齢区分で被害率が3割前後というのは、生涯経験においては、学生時代等に被害にあった人がどの年代にもまんべんなくいるということかもしれない（被害にあった直近の時期が10年以上前との回答者も多い）。

被害者調査について

- 一番端の車両が少ないのは女性専用車両の影響もあると思う。
- 予想よりも助けてくれる人が多く、希望が持てる結果となった。加害者は抵抗されたらやめる傾向が明確になった。
- 友人には言うが、警察には言わない、面倒だからというのは予想された内容。また、痴漢にあったことを駅員に言うなどのハードルもある。
- 届け出る被害者が少ない中、誰かに相談してもそれが届け出につながっていない状況は深刻。警察、駅職員の他にも、相談を受けた学校の先生は、通学路線で痴漢があるということで、警察等に届け出ることを生徒と相談する必要があると個人的に思う。
- 女性で「特に心身への影響はなかった」との回答比率が高めなのは、相談して気持ちが楽になったからか、被害が日常的で影響を感じにくいのか、さらなる分析に関心がある。
- 性別による差異分析も重要なポイントである。

第三者調査について

- 目撃・居合わせの状況と被害状況が同じ回答傾向で、説得力が増した。介入すると止まる傾向もアピールできるとよい。
- 痴漢の確信が持てない中で、第三者が行動することは難しい。加害者に介入するのは勇気がいる。「大丈夫ですか」、「具合が悪いですか」等と被害者に声がけするのであれば、しやすいかもしれない。
- 朝の通勤時間帯に被害者に声をかけ、警察に同行するとなると、自分自身も仕事に遅れる状況でなかなか声をかけにくい。遅延証明書は必要。また、企業や学校側の理解も重要である。

共通設問について

- 相談機関が「どのようなことをしてくれるかがわからない」との回答が多い現状を改善していく必要がある。相談機関の名称に「痴漢」という文字がなく、どこに相談していいか迷うかもしれない。ただ、「痴漢」という名称自体の問題もある。
- 痴漢にあった時にSNSで行政の相談機関に連絡し、行政の相談機関が即応し、具体的アドバイスを行う等の状況が理想。即時対応には困難を伴うが、防犯カメラの映像確保など、痴漢はすぐに行動しないと証拠が失われる。防犯カメラの普及は重要。
- 回答者から、防犯設備、防犯体制強化等安全重視を求める声が上がっていることに着目すべき。広報、市民の意識向上も重要。

施策について

- 連絡・相談する被害者が少ないので、これを促進する必要がある。即時・簡単に行政の相談窓口で連絡・相談できる仕組み、アプリ等があるとよい。痴漢を主とする行政の相談窓口があるとよい。SNSで即応できるのが一番よい。
- 学校で被害にあった生徒から相談があった場合に、先生は警察や駅職員に通報する等、学校への周知も必要。
- 被害者を助けた後、どのような工程で、どのくらいの時間がかかるのか、短い動画でよいので、介入後の流れについて紹介できるとよい。また、介入後にかかる時間や労力を削減することも重要。
- 痴漢撲滅の広報（介入を促すポスター等）を何パターンか行い、効果を検証してみたい。

島田貴仁 氏 ①（科学警察研究所 犯罪行動科学部 室長）

スクリーニング調査について

- 被害経験あり、目撃・居合わせ経験ありの方とも、概ね、当初予想と合致する結果が現れている。
- 一方で、目撃・居合わせ経験ありの方のうち、直接被害を目撃したとの回答が多い等、意外な結果もみられた。
- 被害経験の有無と乗車時間、混雑状況等は、過去1年に絞り込んでみると、より鮮明に傾向が出る。今後、過去1年の被害について分析するとよい。

被害者調査について

- 痴漢被害の回数については、特に1年前以前の被害はもっと多いと思っていた。痴漢被害はある時期に頻回に遭遇する反復被害が顕著だと考えられるが、今回の回答者においてはそうではなかったか、選択肢の影響と考えられる。
- 年齢が上がると被害経験率も上がるため、生涯被害でみると、若年層等の被害の傾向があまりみえてこない。過去1年以内の被害と生涯被害（過去1年とそれ以前を合算）はわけて分析することが必要である。
- 被害にあった時期として夏が多いのは自然の結果とも考えるが、調査時期が8月だったこともあり、季節（薄着）のせいなのか、親近性効果なのかが気になっている。
- 被害者から見て周辺者が被害に気付いたケースは1割程度にとどまった。周辺者が気付いていても被害者がそれに気づいていない可能性、周辺者が本当に気付いていない可能性の双方があるが、周辺者が気付く・気付かせることの重要性が指摘される。
- 駅職員、警察への届け出率は、予想よりも高かった。届け出等の積極的な行動が、調査への応諾が交絡している（届け出していない人は調査へ協力しない）可能性はあるものの、届け出率がそれなりに高いことをアピールしてもよい。
- 相談機関への連絡は、被害現場で連絡先を検索する行動がうかがえる。検索時に相談機関が上位に出てくる工夫が必要である。
- 届け出・連絡・相談した主体により、被害者に対するサポート内容が異なることが、今回の結果で明確になると考えている。

島田貴仁 氏 ②（科学警察研究所 犯罪行動科学部 室長）

第三者調査について

- 多くの設問で目撃・居合わせの状況と被害状況が同じ回答傾向となっている。一方、気づいた痴漢被害の内容においては被害者の回答と異なり、ボタンをはずされた、髪を触られた等、視覚的に見える被害が多く挙げられている。これらの結果から、回答内容に信頼性が感じられる。
- 電車内では被害に気付いた人の6割は介入している。ここは大事にしたい結果である。アクティブバイスタンダーの役割が重要。被害者が助けを求めるだけでなく、「あなたが行動することで周りも行動する」ということを伝えるのが重要である。第三者による介入の重要性が調査全体でわかってくるとよい。
- 気付いていても介入できなかったケースについて今後その要因を分析したい。

共通設問について

- 相談機関の認知度、認知ルート、相談機関への印象等の結果は、相談機関関係者に知ってほしい内容となっている。

施策について

- 痴漢撲滅に向けた対応は、①痴漢が発生しにくいような環境を作る、②周りの人が気づきやすくする、周辺への援助要請をしやすくする等で被害拡大防止を図る、③被害時の相談・通報行動を増やし被害の悪影響を減らす、との分類が可能である。このような視点で今後への結論（出口）を整理するとよい。電車の混雑緩和は施策として非常に重要だと思われる。
- 対策等に関する意見・要望については、多くの回答をいただいたことで、分類整理ができた。
- 相談機関については、そもそも認知度が低いことが課題なのか、知られてはいるが相談しても解決しない、二次被害にあう等、効用がきちんと伝わっていないのかを考えるためにも、今回の調査は役立つはずである。